

「ことまな学校サポートサイト」から、三省堂教科書・教材への世界が広がります。

最新の指導用データをダウンロードできる「ことまな学校サポートサイト」

同じアカウントで、教師用指導書同梱の指導者用デジタル教科書（教材）まで活用できる！
クラウド版はことまな学校サポートサイトから簡単アクセス！

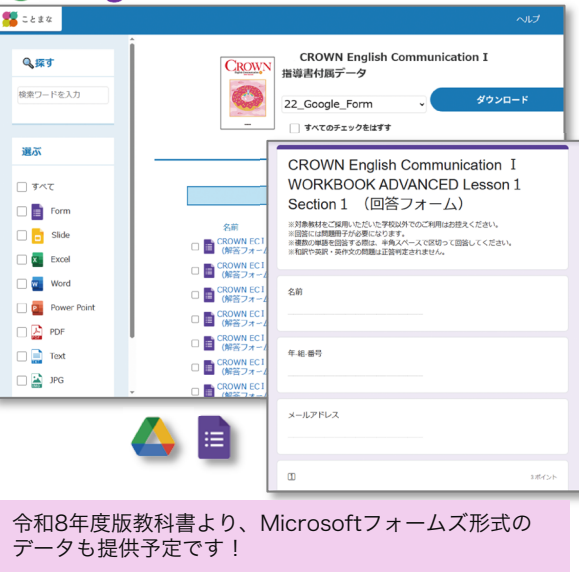


お使いの教科書や学習参考書などに応じて、それぞれの商品の指導用付属データなどをダウンロードし、ご利用いただくことができます。

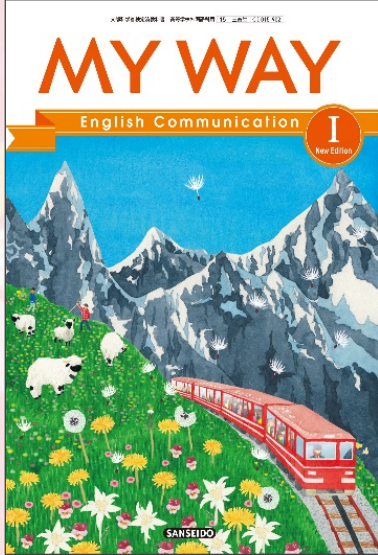
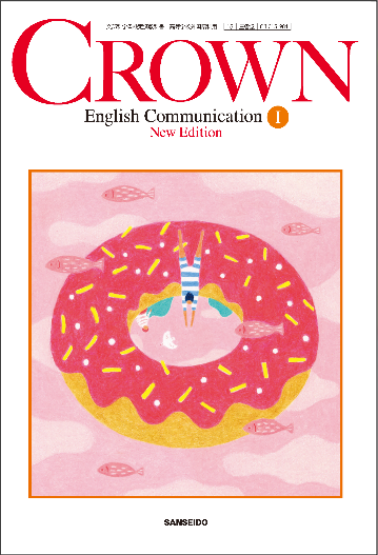
テスト問題の作成も簡単ラクラク 自動問題作成プログラム「ことまなT」



Chromebookでのご指導に、Googleフォーム！ Googleアカウント連携「ことまなD」



令和8年度版教科書より、Microsoft フォームズ形式のデータも提供予定です！



特設サイトは
こちらから▼



三省堂 高等学校英語教科書 英語コミュニケーション

指導書ダイジェスト

- クラウン英語コミュニケーション・・・p.2
- マイウェイ英語コミュニケーション・・・p.14
- ビスタ英語コミュニケーション・・・p.26



教科書の詳細はこちらの冊子をご覧ください。

SSD三省堂

INDEX

ラインナップ・共通した特徴		p.1
 クラウン 英語コミュニケーション	指導用各種データ一覧	pp.2~3
	解説と指導PDF	p.4
	題材資料	p.5
	評価問題（思判表シートを含む）	pp.6~7
	授業案	p.8
	通し読みシート	p.9
	スラッシュ入り本文	p.10
	Easy Version／サマリー	p.11
	活動ワークシート／ループリック案／ 提示用パワーポイント	p.12
 マイウェイ 英語コミュニケーション	指導用各種データ一覧	pp.14~15
	解説と指導PDF	p.16
	題材資料	p.17
	評価問題（思判表シートを含む）	pp.18~19
	授業案	p.20
	情報の整理	p.21
	スラッシュ入り本文	p.22
	Easy Version／サマリー	p.23
	活動ワークシート／ループリック案／ 提示用パワーポイント	p.24
 ビスタ英語 コミュニケーション	指導用各種データ一覧	pp.26~27
	解説と指導PDF	p.28
	題材資料	p.29
	評価問題（基礎確認ワークシートを含む）	pp.30~31
	かな発音付き本文／スラッシュ入り本文（サイトラ用）	p.32
	Easy Version／穴あきサマリー	p.33
	活動ワークシート／ループリック案／ 提示用パワーポイント	p.34
	指導者用デジタル教科書（教材）	p.35
評価支援ツール・データ活用紹介		pp.36-37
ことまな学校サポートサイト案内		裏表紙

■ラインナップ

1	CROWN English Communication I New Edition Teacher's Manual
2	MY WAY English Communication I New Edition Teacher's Manual
3	VISTA English Communication I New Edition Teacher's Manual

■共通した特徴

① 使いやすい三点構成！

Teacher's Manualは、いずれの書名も以下の3点で構成されています。

- ① 解説と指導（冊子）
- ② Teacher's Book（冊子）※分売可
- ③ 指導用データ（ダウンロード）※ROMでの提供にも対応

授業準備、および実際の授業に必要な十分な資料・データ類が揃っています。

② 指導者用デジタル教科書（教材）が同梱！

いずれの書名にも、使い勝手のよい「指導者用デジタル教科書（教材）」が同梱（＝利用権が付与）されています。

紙面提示・拡大表示や音声再生、フラッシュカードほか、充実した指導用コンテンツを、追加の費用負担なしでお使いいただけます。

Windows PC・iPadで利用できるほか、Chromebookでの利用を含めたブラウザ版にも対応しています。

③ 多種多様なテスト問題を用意！

それぞれの教科書に応じ、基礎から入試レベルまで、読解問題からパフォーマンステストまで、多種多様なテスト問題データが収録されています。Googleフォームで出題・解答を集約する際のテンプレートもご用意しています。

指導用各種データ一覧



■ レッスンごとのデータ

※内容は一部変更になる可能性があります。
※ReadingとOptional Lessonは一部内容が異なります。

1	題材資料	題材資料	各レッスンの題材資料PDF
2	評価問題	①確認問題	セクションの語彙・文法等を確認する問題
		②本文を使った長文問題	セクションの本文を長文に見立てた問題
		③総合問題 A	レッスンの総合問題
		④総合問題 B	英検形式の4 択問題（語彙・表現＋本文理解）
		⑤総合問題 C	読解力をはかる発展的総合問題
		⑥EYPを使った長文問題	Expand Your Perspective を入試長文に模した総合問題
		⑦題材関連英文を使った長文問題	レッスンの題材に関連した英文と内容理解問題
3	教科書本文	①教科書データ	教科書本文のすべてを収録
		②本文データ	レッスン本文のみのデータ
		③通し読みシート	セクション分けせずに読むためのシート（内容確認問題付き）
4	スラッシュ入り本文	①スラッシュ入り本文A	標準的な長さに区切ったもの
		②スラッシュ入り本文B（訳付き）	和訳をつけたもの（Word）
		③スラッシュ入り本文C（訳付き）	和訳をつけたもの（Excel）
5	穴あき本文	①穴あき本文A（新出語）	新出語部分が穴あき
		②穴あき本文B（新出語の頭文字入り）	（ ）内に最初の1 文字入り
		③穴あき本文C（訳付き）	（ ）に訳を付したもの
		④穴あき本文D（ディクテーション）	ディクテーション用に新出語・内容語を穴あきにしたシート
6	Easy Version	Easy Version	本文を平易な英語で書き換えたもの
7	訳文	①訳文A（意識）	教科書本文の意識
		②訳文B（逐語訳）	教科書本文の逐語訳
		③訳文C（Wrap It Up! Step 1）	各課のWrap It Up! Step 1 の意識
		④訳文D（Expand Your Perspective）	各課のExpand Your Perspective の意識
8	本文理解・サマリー	①補充Q&A	各セクションの補充Q&A
		② TF	各セクションの補充TF。音声なし
		③サマリーA（英語・日本語）	レッスン全体および各セクションのサマリー（英語＋日本語訳）
		④サマリーB（穴あき）	セクションごとのサマリーの一部を（ ）にしたもの
		⑤情報の整理A（日本語）	パラグラフごとの情報の整理（日本語）
		⑥情報の整理B（英語）	パラグラフごとの情報の整理（英語）
9	その他	①Watch the Video スクリプト	各レッスンのWatch the Video のスクリプト
		②Oral Introduction	各セクションのOral Introduction のスクリプト
		③活動用ワークシート（Wrap It Up!）	課末のコミュニケーション活動で使えるワークシート
		④評価ルーブリック案	言語活動の評価に使えるルーブリック
		⑤文法等チェック	各レッスンで学習した文法の確認問題
		⑥原典	原典（ある課のみ）
10	図版	リテリング活動用図版	リテリング用イラストの画像データ、リテリングシート（Word）

11	ワークブック	①ワークブック スタンダード版	スタンダード版の文字データ
		②ワークブック アドバンスト版	アドバンスト版の文字データ
		③サブノート	サブノートの文字データ
12	投影用データ	①本文	パラグラフごとに1 スライド
		②本文（1 文ごと）	1 文ごとに区切られた本文と和訳
		③本文（スラッシュ）	スラッシュで区切られた本文と和訳
		④Q&A_TF	教科書の各セクションのQuestions、TF、Chhose&Discuss などの文字と解答
		⑤単語フラッシュカード	新出語・新出熟語（フラッシュカード形式）
13	ポキャブラリー	①単語・熟語リストA	新出語・新出熟語リスト。例文つき（Word）
		②単語・熟語リストB	新出語・新出熟語リスト。例文つき（Excel）
		③単語リスト（英英）	英語の語釈から語を解答する問題形式
		④クロスワードパズル（英英）	英語の語釈と単語を結びつけるクロスワードパズル形式のシート
		⑤関連語・派生語リスト	セクションごとの関連語・派生語リスト（Excel）
14	Expand Your Perspective	①本文	Expand Your Perspective の本文データ
		②Q&A	英問英答のQ&A
		③TF	内容理解を問うTF

■ 各レッスン外のデータ

15	その他教科書テキスト	①Reading Skill	各コーナーの文字データ
		②Conversation Skill	
		③Sound Studio	
		④Useful Expressions	
		⑤接続詞の用法と用例	
16	単語リスト他	①単語リスト	全新出語の英英語訳データ。CEFR-J レベルつき
		②熟語リスト	教科書傍注・脚注の全熟語リスト（出現順）
17	その他テスト	①パフォーマンステスト	全3 回分。スピーキングとライティングのテスト
		②リスニングテスト	全3 回分。音声データと解答シート
		③大学入学共通テスト型問題	全3 回分
		④定期テスト案	「知技」「思判表」を明記した定期テスト案
18	授業案	授業案	授業案、クラスルーム英語、一部ワークシートあり（Word）
19	教科書紙面PDF		
20	教師用指導書「解説と指導」紙面PDF		
21	『コーパス・クラウン総合英語』紙面PDF		
22	ワークブック・サブノート音声		

■ その他ご利用いただけるデータ

1	ことまな辞書（教師用）『ウィズダム英和辞典第4版』『ウィズダム和英辞典 第3版』『エースクラウン英和辞典 第3版』
2	評価支援ツール（観点別評価～評定換算表）
3	指導者用デジタル教科書（教材）
4	自動問題作成プログラム「ことまなT」
5	Googleフォーム解答用フォーム（評価問題／ワークブックに対応）

■評価問題（思判表シートを含む）

▶本文を使った総合問題のほか、初見の関連英文を用いた問題、パフォーマンステスト、大学入学共通テスト型問題など、豊富にご用意しています。

Lesson 3 総合問題 A

Class _____ No. _____ Name _____

①下線部の発音が同じものを3 つ選び、記号を○で囲みなさい。(完答 5 点)

ア guest	イ painting	ク frighten	ケ stay	オ creation
カ peaceful	キ bright	ク break	ケ anger	コ dangerous

②各組のもっとも強く発音する母音が同じであれば○、異なっていれば×を書きなさい。(2 点×6)

1. super : sup- ply ()	2. recognize : rep- re- sent ()
3. nowhere : snow- y ()	4. career : drag- on ()
5. collaboration : deco- rate ()	

③指定された文字で始めて、次の定義にあてはまる英語 1 語を書きなさい。(2 点×5)

1. a strong feeling that you have when you have an unhappy experience (a)	
2. a person who is invited to someone's home (g)	
3. to cause so much damage to something (d) 汗 damage 被害	
4. the act of working together with another person or group to produce something (c)	
5. a child who lost his or her parents (o)	

1.()	2.()	3.()	4.()	5.()
-------	-------	-------	-------	-------

④日本語を参考に、() に適切な語を入れなさい。指定があればその文字で始めなさい。(2 点×5)

1. その兄弟は危険に直面しても落ち着いていた。 The brothers kept cool in () () danger.
2. 自動車事故から回復した時、私は以前にろうと決心しました。 I () () () () to be a doctor when I recovered from the car accident.
3. ひょっとしてこの写真の女性をご存じではありませんか。 Do you (h) () know the woman in this picture?
4. その事故はジェーンと僕を引き合わせてくれた。 The accident (h) Jane and me () .
5. この映画は、ある有名な俳優が書いた物語が元になっている。 This movie () () () a story written by a famous actor.

⑤以下の文を読んで設問に答えなさい。(合計 45 点)

Mariupol was not a safe place for an art project. But (ア) my surprise, when I (あ) painting, children came out (イ) nowhere to join me.

We painted a big mitten. The idea is based (ウ) a popular Ukrainian story, *The Magic Mitten*. In the story, one snowy night, an old man (い) his mitten. A mouse, a frog, a rabbit, a fox, a wolf, and many other animals climb into the mitten to stay warm.

In our painting, you (う) people from all over the world (of / huge mitten / sharing / a / the / warmth). It is decorated with (which / Easter eggs / life / and hope / represent). Our painting (え) that people's warm hearts can hatch the egg of hope and bring a peaceful life (エ) us all.

I still do not (お) a clear answer to the question: Who am I as a person and as an artist? But one thing has become clear: my art has the power to make people "super happy."

1. (ア) ~ (ニ) に入れるのがもっとも適切なものを①~⑤から選び、その記号を○で囲みなさい。(3 点×4)

(ア) ① for	② to	③ in	④ at
(イ) ① of	② from	③ for	④ to
(ウ) ① on	② in	③ for	④ at
(エ) ① into	② from	③ with	④ to

2. (あ) ~ (お) に入れるのがもっとも適切なものを() から選びなさい。必要に応じて適切な形 (1 語) にすること。(3 点×5)

have	drop	see	show	start	ask
------	------	-----	------	-------	-----

(あ) ()	(い) ()	(う) ()
(え) ()	(お) ()	

3. 下線部①②の() 内の語句を、意味が通るように並べかえなさい。(各 4 点)

① [_____]
② [_____]

4. ミヤザキさんがずっと自分に対して問いかけてきた問いは何か日本語で答えなさい。(5 点)

[_____]

5. 本文の内容について、次の問いに英語で答えなさい。(各 6 点)

A. What is the question which he has long asked himself?

[_____]

B. What is the thing that has become clear to Miyazaki?

[_____]

⑥ () 内の語句を使って、次の文を英語に直さない。() 内の語句は必要に応じて適切な形にすること。(4 点×6)

1. 聞いたことは、先週土曜私たちのチームは決勝でその強豪チームに勝ちました。 (strong team, final) [_____]
2. 週末には私はテレビゲームをして多くの時間を過ごしました。(video game) [_____]
3. 部屋に彼らが世界中で買ったたくさんのもので飾られています。(living room) [_____]
4. これは明晩祖父が話してくれた物語です。(which, by) [_____]
5. あそこにいる少年をごらんない。彼は両親が宇宙飛行士である少年です。 (whose, astronaut) [_____]

Lesson 3 総合問題 C

Class _____ No. _____ Name _____

①以下の文を読んで、文意に即して下線部①~⑤の() 内の語句を並べかえなさい。ただし、下線部の単語は文脈にくる語も小文字にしてある。(6 点×5=30 点)

I've always loved painting. During a spring break in high school, I visited Belgium for two weeks. I (ア) (my / spent / painting / time) on the streets. (カ) (passed by / seemed / people / who / happy) to see my work, even though I couldn't understand their language. I realized the power of art to bring people together.

In college, I had a dream. I (イ) (wanted / recognize / people / the world / all over / to) me as a great artist. After graduating, I went to London to become famous.

In London, I lived and worked parttime in a guest house. I didn't have much money. No gallery accepted my paintings.

My street artist friends and I (ウ) (thought / look / was / it / cool / to) angry. They were expressing their anger at social injustice, and their anger was real. But I was (エ) (living / an ordinary family / an ordinary life / from). I wasn't angry at all.

I was in London for two years, but still I wasn't a famous artist. I decided I had to find a different way of expressing myself.

② I [_____] on the streets.
③ I [_____] to see my work, ...
④ I [_____] me as a great artist.
⑤ ... and I [_____] angry.
⑥ But I was [_____] .

②以下の文を読んで、(1) ~ (5) に入る英文をア~エの中から選びなさい。ただし、文中に置かれる場合も選択肢の又は独立した文の形にしてある。(4 点×5=20 点)

In London, I happened to watch a TV program about a school for orphans and street children in Nairobi, Kenya. (1) . I suddenly felt an urge to go to Kenya and paint something for those children.

It wasn't easy, but finally in 2006, I got to Kenya, found the school, and was able to paint for the children. I painted an angry dragon. (2) , but a teacher complained, "The children are frightened by the dragon. Some of them refuse to come to school." The children thought that it was a big snake. (3) .

I asked them, "What would you like me to paint?"

"Lions!" "Bababab!"

I asked the children to help me, and (4) . According to the teachers, the children became more active than before.

(5) . Creating happiness through painting in collaboration with others is my thing. I made up my mind to do a painting project every year in different parts of the world.

ア. I was happy with it
イ. The children looked unhappy
ウ. We had a lot of fun painting together
エ. That was a turning point in my career
オ. They did not know that dragons are imaginary

(1) () (2) () (3) () (4) () (5) ()

③以下の文を読んで設問に答えなさい。(5 点×4=20 点)

In 2011, after the Great East Japan Earthquake, I joined a volunteer group in Sendai. Because schools were closed, children had nothing to do. They looked bored. I thought my painting project might cheer them up. I started working with these children. We painted the walls of a school.

A barber in Ofunato, Iwate, asked me to paint a sign for his shop. I not only made the sign, but I also painted his whole shop in bright colors!

I had doubts about the usefulness of my art project, but I did not want to think that art has no power in the face of disaster. ① Money and supplies that people donate can be of great help. ② People can laugh and smile even in the worst conditions. ③

In 2017, I found myself in Mariupol, Ukraine. A war was going on. It was a very dangerous place. People were dying every day. I saw shell holes everywhere and buildings destroyed by bombs.

1. 以下の説明にあてはまる語を本文中から抜き出さなさい。

(1) feeling tired because you are not interested in something	[_____]
(2) to give money, food, clothes, etc. to help a person or an organization	[_____]
(3) to shout loudly in order to encourage someone	[_____]

2. 次の文が入るのにもっとも適切な位置を、①~③から 1 つ選び、番号を書きなさい。

But working together on a painting and sharing the joy of creation can also help. ()

④以下の文を読んで設問に答えなさい。(6 点×5=30 点)

Mariupol was not a safe place for an art project. But (ア) to my surprise, when I started painting, children came out of nowhere to join me.

We painted a big mitten. (カ) The idea is based on a popular Ukrainian story, *The Magic Mitten*. In the story, one snowy night, an old man drops his mitten. (イ) A mouse, a frog, a rabbit, a fox, a wolf, and many other animals climb into the mitten to stay warm.

In our painting, you see (ウ) people from all over the world sharing the warmth of (エ) a huge mitten. It is decorated with (オ) Easter eggs which represent life and hope. Our painting shows that people's warm hearts can hatch the egg of hope and bring a peaceful life to us all.

I still do not have a clear answer to the question: Who am I as a person and as an artist? But one thing has become clear: my art has the power to make people "super happy."

Lesson 3 総合問題 A 解答

① イ、エ、ウ、ク、コ

② 1. × 2. ○ 3. ○ 4. × 5. ×

③ 1. anger 2. guest 3. destroy 4. collaboration 5. orphan

④ 1. the face of 2. made up my mind 3. happen to
4. brought, together 5. is based on

⑤ 1. (ア) ② (イ) ① (ウ) ③ (エ) ④
2. (あ) started (い) drops (う) see (え) shows (お) have
3. ① sharing the warmth of a huge mitten
② Easter eggs which represent life and hope
4. 私に人間として、芸術家として何者なのか
5. A. It is "Who am I as a person and as an artist?"
B. It is that his art has the power to make people "super happy."

⑥ 1. To my[our] surprise, our team defeated the strong team in the final (game) last Saturday.
2. Over the weekend I spent a lot of time playing video games.
3. The living room is decorated with a lot of things (which[that]) they bought all over the world.
4. This is the[a] story which was told by my grandfather last night.
5. Look at the boy over there. He is the boy whose parents are astronauts.

※以下の評価問題をご用意しています。

① 確認問題

セクションの語彙・文法等を確認する問題

② 本文を使った長文問題

セクションの本文を長文に見立てた問題

③ 総合問題 A

レッスンの総合問題

④ 総合問題 B

英検形式の4 択問題

(語彙・表現＋本文理解)

⑤ 総合問題 C

読解力をはかる発展的総合問題

⑥ EYPを使った長文問題

Expand Your Perspective を入試長文に模した総合問題

⑦ 題材関連英文を使った長文問題

レッスン題材に関連した英文と内容理解問題

1. 下線部①の原因を表す以下の文を完成させなさい。

Miyazaki was surprised because children came out of nowhere to join him though Mariupol [_____] .

2. 下線部②は具体的に何を指すか、3 語の英語で答えなさい。

() () ()

3. ミヤザキさんたちが聴いた歌では、下線部③の代わり何が始められたか、6 語で抜き出さなさい。

() () () () () ()

4. 絵画 (下線部④⑤⑥) の関係について簡単に述べた次の文を完成させなさい。(完答で 6 点)

People's (ア) warmed by a huge mitten can (イ) Easter eggs representing (ウ) and (エ) .

(ア) () (イ) () (ウ) () (エ) ()

5. 次の質問に答えなさい。

What has Miyazaki believed about his art after several art projects?

I [_____]

Lesson 3 総合問題 C

解答例

① ① spent my time painting
② People who passed by seemed happy
③ wanted people all over the world to recognize
④ thought it was cool to look
⑤ from an ordinary family living an ordinary life

② 1. イ 2. ア 3. オ 4. ウ 5. ニ

③ 1. (1) bored (2) donate (3) cheer
2. ②

④ 1. was not a safe place (for an art project)
2. a big mitten
3. people from all over the world
4. ア hearts イ hatch ウ life エ hope (ウ、コは逆でもよい)
5. He has believed (that) his art has the power to make people "super happy."

6

7

▶ レッスンやパートごとに、具体的な授業展開例や指導上の留意点などを提案しています。
関連する指導用データについても示されており、授業の準備に役立ちます。

▶シートは、①本文、②内容確認問題、③英英語訳付きの新語一覧で構成されており、そのままプリントアウトしてすぐにお使いいただけます。

<p>どて提示する。ペアで相談する時間を 認させる。 て確認する。</p> <p>の音声に合わせて音読、2 回目は個 り作成をおこなうことを伝え、Section る。</p> <p>ど手びかけ、2 分でサマリーの準備を てサマリーを伝えるように指示する。</p>	
<p>the Great East Japan Earthquake. had nothing to do. Miyazaki and paint a school. He also painted a art projects useful? Miyazaki is eed money and supplies. But art of creation can help people laugh to Mariupol, Ukraine, another on.</p>	<p>どのようなサマリーを求められているの かを確認と本時の内容の振り返り。</p>
<p>データに収録されている) くことであると伝える。</p>	

Lesson 3
Hatching the Egg of Hope

For Miyazaki Kenseiku, art is a way to share happiness with people all over the world. He sees life as a journey to discover an answer to the question: Who am I as a person and as an artist?

I've always loved painting. During a spring break in high school, I visited Belgium for two weeks. I spent my time painting on the streets. People who passed by seemed happy to see my work, even though I couldn't understand their language. I realized the power of art to bring people together.

In college, I had a dream. I wanted people all over the world to recognize me as a great artist. After graduating, I went to London to become famous.

In London, I lived and worked part-time in a guest house. I didn't have much money. No gallery accepted my paintings.

My street artist friends and I thought it was cool to look angry. They were expressing their anger at social injustices and their anger was real. But I was from so ordinary family living an ordinary life. I wasn't angry at all.

I was in London for two years, but still I wasn't a famous artist. I decided I had to find a different way of expressing myself.

In London, I happened to watch a TV program about a school for orphans and street children in Nairobi, Kenya. The children looked unhappy. I suddenly felt an urge to go to Kenya and paint something for those children.

It wasn't easy, but finally in 2006, I got to Kenya, found the school, and was able to paint for the children. I painted an angry dragon. I was happy with it, but a teacher complained, "The children are frightened by the dragon. Some of them refuse to come to school." The children thought that it was a big snake. They did not know that dragons are imaginary.

I asked them, "What would you like me to paint?"
"Lions!" "Bababab!"

I asked the children to help me, and we had a lot of fun painting together. According to the teachers, the children became more active than before.

That was a turning point in my career. Creating happiness through painting in collaboration with others is my thing. I made up my mind to do a painting project every year in different parts of the world.

In 2011, after the Great East Japan Earthquake, I joined a volunteer group in Sendai. Because schools were closed, children had nothing to do. They looked bored. I thought my painting project might cheer them up. I started working with these children. We painted the walls of a school.

A barber in Ofunato, Iwate, asked me to paint a sign for his shop. I not only made the sign but also painted his whole shop in bright colors!

12. Reading
Read the following sentences. If the statement is true, mark it "T." If the statement is false, mark it "F."

1. People in Belgium seemed happy to see Miyazaki's paintings. ()
2. In London, Miyazaki thought it was cool to look angry. ()
3. Miyazaki became famous while he was in London. ()
4. A school in Kenya invited Miyazaki to paint something for children. ()
5. Miyazaki was happy with the dragon he painted. ()
6. The children and Miyazaki enjoyed painting together. ()
7. Miyazaki thought his art project in Sendai might cheer the children up. ()
8. The barber asked Miyazaki to paint for his whole shop. ()
9. In 2017, Mariupol was not a safe place. ()
10. Miyazaki was surprised when many children came and helped him paint. ()
11. Easter eggs represent world peace. ()

12. Miyazaki found a clear answer to the question, "Who am I as a person and as an artist?"
()

WPM
the number of words : 730 words / time () $\times 60 \times$ the number of the right answers of T/F questions () / 12 questions

Your WPM — _____

[illegible]

■スラッシュ入り本文

▶スラッシュ入り本文データは、標準的な長さに区切ったものと和訳をつけたもの (Word、Excel) をご用意しています。

Lesson 3 スラッシュ入り本文 (訳付き)	
I got to Kenya, found the school, and was able to paint for the children.	私はケニアに行った。その学校を創った。そして子どもたちのために絵を描くことができた。
I painted an angry dragon.	私は怒ったドラゴンを描いた。
I was happy with it, but a teacher complained, "The children are frightened by the dragon."	わたしはそれに満足した。しかしある先生が不満を言った。 「子どもたちがドラゴンを怖がっている。」
Some of them refuse to come to school."	中には学校へ来るのを拒否する子どもがいる。」と
The children thought that it was a big snake.	子どもたちは思った。それは巨大なへびだ。
They did not know that dragons are imaginary.	彼らは知らなかった。ドラゴンは想像上のものだ。
I asked them, "What would you like me to paint?"	私は彼らに聞いた。あなたたちがなにに絵を描いてほしい。
"Lions!"	ライオン！
"Beehives!"	「ハチバチの巣！」
I asked the children to help me, and we had a lot of fun painting together.	私は子どもたちに手伝ってくださるよう頼んだ。そして私たちは一緒に絵を描きあうとても楽しんだ。
According to the teachers, the children became more active than before.	先生からによれば、子どもたちは以前より活発になった。
That was a turning point in my career.	それは私のキャリアの転機となった。
Creating happiness through painting in collaboration with others is my thing.	絵を描くことを通じて幸せを生み出すことが、私の人となりの核。それが私の本質。それが私の本質。
I made up my mind to do a painting project every year in different parts of the world.	私は決意した。毎年絵を描くプロジェクトを世界中のあらゆる場所で行う。

Lesson 3 スラッシュ入り本文 (訳付き)	
8 In 2011, after the Great East Japan Earthquake, I joined a volunteer group in Sendai.	2011年、東日本大震災のあと、私は仙台でボランティア団体に参加した。
Because schools were closed, children had nothing to do.	学校は閉鎖されていたので、子どもたちは何にもすることがなかった。
They looked bored.	彼らは退屈そうに見えた。
I thought my painting project might cheer them up.	私は思った。私の絵を描くプロジェクトで彼らを元気づけられるかもしれない。
I started working with these children.	私はこれらの子どもたちとどうにかして活動を始めました。
We painted the walls of a school.	私たちは学校の壁に絵を描いた。
A barber in Ofunato, Iwate, asked me to paint a sign for his shop.	岩手県大船渡市の理髪師が、私の店の看板を描いてほしいと頼みました。
I not only made the sign, but I also painted his whole shop in bright colors.	私は看板を作っただけでなく、店全体を華やかに仕上げた。
I had doubts about the usefulness of my art project, but I did not want to think that art has no power in the face of disaster.	私は疑問を抱いていた。私のアートプロジェクトの有用性について。しかし私は考えがちなこと。アートが無力である。災害の前で。
Money and supplies that people donate can be of great help.	人々が寄付するお金や物資は、大きな助けになり得る。
But working together on a painting and sharing the joy of creation can also help.	しかし、一枚の絵に、共に喜びを分かち合うこと。同僚のおかげになり得る。
People can laugh and smile even in the worst conditions.	人々は笑ったり涙を流したりすることができる。たとえ最悪の状況であっても。

Lesson 3 スラッシュ入り本文 (訳付き)	
Lesson 3 Hatching the Egg of Hope	希望の卵をかます
For Miyazaki Kensuke, art is a way to share happiness with people all over the world.	ミヤザキケンスケにとって、アートとは幸せを共有するひとつの手段である。世界じゅうの人々へ。
He sees life as a journey to discover an answer to the question: Who am I as a person and as an artist?	彼は人生を旅と捉えている。問にに対する答えを見つけるための。『私はひとりの人間として何者なのか。そしてアーティストとして。』
1 I've always loved painting.	私は絵を描くのがずっと大好きだった。
During a spring break in high school, I visited Belgium for two weeks.	高校の春休みの間、私は2週間ベルギーを訪れた。
I spent my time painting on the streets.	私は時間を過ごした。路上で絵を描いて。
People who passed by seemed happy to see my work, even though I couldn't understand their language.	そばを通りかかった人は、私の作品を見て楽しんでいるように見えた。たとえ私が彼らの言葉を理解できなかったとしても。
I realized the power of art to bring people together.	私はアートの力が驚くべき。人と人をつなぐこと。
In college, I had a dream.	大学で、私は夢を見た。
I wanted people all over the world to recognize me as a great artist.	私は世界中の人々に対してはしかつた。私を偉大なアーティストとして認識して。(はしかつた)
After graduating, I went to London to become famous.	卒業後、私は有名になるためにロンドンへ向かった。
In London,	ロンドンでは、

Lesson 3 スラッシュ入り本文 (訳付き)	
I lived and worked part time in a guest house.	私は1泊1日のゲストハウスで暮らして、パートタイムで働いた。
I didn't have much money.	私はお金があまり持っていなかった。
No gallery accepted my paintings.	私の絵画を受け入れてくれる画廊はなかった。
My street artist friends and I thought it was cool to look angry.	私と路上アーティストの友人たちは、怒って見ることがかっこいいと思っていた。
They were expressing their anger at social injustice, and their anger was real.	彼らは怒りを表現していた。社会の不公平さに対する。そしてそれらの怒りは本物だった。
But I was from an ordinary family living an ordinary life.	しかし私は普通の家庭の出身で、普通の生活を送る。
I wasn't angry at all.	私はまったく怒っていなかった。
I was in London for two years, but still I wasn't a famous artist.	私はロンドンに2年間いた。しかし、いまだ有名アーティストではなかった。
I decided I had to find a different way of expressing myself.	私は決意した。私は自分自身を表現する別の方法を見つけなければならなかった。
2 In London, I happened to watch a TV program about a school for orphans and street children in Nairobi, Kenya.	ロンドンで、私は偶然テレビ番組を見た。ケニアのナイロビにある孤児院と路上児の学校についての。
The children looked unhappy.	子どもたちは悲しそうに見えた。
I suddenly felt an urge to go to Kenya and paint something for those children.	私は突然ケニアに行きたいという衝動に駆られた。そしてその子どもたちのために何かを描きたい。(という衝動に駆られた)
It wasn't easy, but finally in 2006,	それは簡単ではなかった。しかし、ついに2006年、

■Easy Version / サマリー

Easy Version ▶ 本文を易しく書き換えた英文を、レッスンごとにご用意しています。

Lesson 3 Easy Version	
Lesson 3 Hatching the Egg of Hope	
For Miyazaki Kensuke, art is a way to share happiness with people all over the world. He sees life as a journey to discover an answer to the question: Who am I as a person and as an artist?	
1 I've always loved painting. When I was a high school student, I visited Belgium for two weeks during spring break. I painted on the streets. People came and looked at my paintings. I couldn't understand what they were saying. But they seemed to like my work. I understood the power of art then. I understood that art can connect people. In college, I had a dream. I wanted to be a great artist and become famous all over the world. After graduating from college, I went to London to become famous. No gallery was interested in my paintings. My street artist friends and I drew angry paintings. We thought it was cool to look angry. My friends were drawing to express their anger at inequality in society. Their anger was real. But I was from an ordinary family. My life was ordinary. I wasn't angry at all. I was in London for two years. But I couldn't become famous. I decided to find a different way of expressing myself.	
2 While I was living in London, I watched a TV program about a school in Nairobi, Kenya. The school was for children whose parents were dead and street children. The children did not look happy. I suddenly wanted to go there and paint something for the children. Going there was not easy. Finally in 2006, I arrived in Kenya. I found the school and painted for the children. I painted an angry dragon. I thought it was a good painting, but one of the teachers did not think so. The teacher said, "The children are afraid of the dragon. Some children don't want to come to school because of the scary dragon." To the children, the dragon was a big snake. They did not know that dragons are not real. I asked the children, "What would you like me to paint?" The children answered, "Lions! Bees!" I asked the children to help me, and we enjoyed painting together. The teachers said that the children became more active than before. That experience changed me. I found that I enjoy creating happiness through painting. I also found that I enjoy painting with others. I decided to do a painting project like this every year. I decided to do the project in different parts of the world.	
3	

Lesson 3 Easy Version	
In 2011, the Great East Japan Earthquake occurred. I went to Sendai and joined a volunteer group. At that time, schools were closed, and children had nothing to do. They looked bored. I thought my painting project would make them happy. I started to paint with these children. We painted the walls of a school. A barber in Ofunato, Iwate, asked me to paint a sign for his shop. I painted the sign and also painted his whole shop in bright colors. I did not know if my art project was useful or not, but I did not want to think it was useless during a disaster. Of course, the donation of money and goods can help people. But painting together and enjoying creating art can also help. People can laugh and smile even during the worst times. In 2017, I went to Mariupol, Ukraine. There was a war there. It was a very dangerous place. People were dying every day. I saw lots of shell holes in many places. Many buildings were destroyed by bombs. 4 Mariupol was a dangerous place for an art project. But when I started painting, children came out to paint with me. I was surprised. We painted a big mitten. The idea of painting a mitten came from a popular Ukrainian story, <i>The Magic Mitten</i> . In the story, one snowy night, an old man drops his mitten. A mouse, a frog, a rabbit, a fox, a wolf, and many other animals go into the mitten. In our painting, people from all over the world are in a huge mitten. They enjoy the warmth of the huge mitten together. The mitten is decorated with Easter eggs. We painted Easter eggs to express life and hope. Our painting shows that people's warm hearts will bring hope and a peaceful life all over the world. I still do not know who I am as a person and as an artist. But I have discovered one thing. My art can make people "super happy."	

サマリー ▶ レッスン全体のサマリー、各セクションごとのサマリー (英語日本語訳)、セクションごとのサマリーの一部を空欄にしたものをご用意しています。

Lesson 3 Summary	
Lesson 3 Hatching the Egg of Hope	
Summary For the artist Miyazaki Kensuke, life is a journey to find out who he is as an artist. He has always loved painting. As a high school student, he visited Belgium and painted. After college, he went to London. He hoped to become a famous painter. However, things did not go well, and he decided to find other ways to express himself. When he saw a TV program about poor children in a school in Kenya, he felt an urge to go there to help. In 2006, he found the school. He tried to make the children happy by painting for them. However, his painting a dragon was too scary. But when they painted together, the children became active and happy. Miyazaki found something important. His painting projects could make people happy. Miyazaki was in Sendai after the Great East Japan Earthquake. He worked with children on painting projects. In times of disaster, the things people need most are money and supplies, but art can help too. In 2017, Miyazaki went to Ukraine. There was a war going on, but he was able to bring people together to make painting based on the story, <i>The Magic Mitten</i> . It is a story about a mitten dropped on a cold night. All kinds of animals climb into the mitten to stay warm. Miyazaki's painting is a huge mitten with Easter eggs, a symbol of hope. People from all over the world climb into the mitten. The message of the painting is that warm hearts can bring hope and peace to the world. Miyazaki is still on his journey to find out who he is as an artist. So far, he has found out one thing for sure: His art projects can make people "super happy!" (2024 words)	
an 3 Summary イントとなっ けこととなっ and, Children also painted a and supplies.	
社会にもたら 集めた。 利は、絵画や 絵に込められ ていた。 about a lost mitten. Their art has been used to help people in disaster areas.	

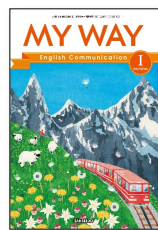
Lesson 3 Summary (日本語訳)	
Lesson 3 Hatching the Egg of Hope	
Section 1 Summary The artist Miyazaki Kensuke talks about his journey to find out who he is as an artist. Miyazaki always loved (). In high school, he visited Belgium and painted on the street. He learned the power of art to bring people () together. After college, he went to London to become (). He didn't want to think it was useless during a disaster. Of course, the donation of money and goods can help people. But painting together and enjoying creating art can also help. People can laugh and smile even during the worst times. In 2017, he decided to look for a different way to () himself.	
Section 2 Summary Miyazaki saw a TV program about () children in Kenya. He felt an () to go there and paint for them. In 2006, he went to Kenya and found the school. He painted a () for the children. They thought it was too scary. So he asked them, "What would you like me to paint?" "Lions!" "Bees!" After that, they painted (), and the children were happy. That was a turning point. Creating () through painting in collaboration with others was his "thing."	
Section 3 Summary Miyazaki went to () after the Great East Japan Earthquake. Schools were closed. Children had nothing to do. Miyazaki and the children worked together to paint a (). He also painted a () in Ofunato. When his art projects started, Miyazaki is not sure. In a disaster, people need money and supplies. But art can power too. Sharing the joy of () can help people laugh and smile. In 2017, he went to Mariupol, (), another disaster area. A war was going on.	
Section 4 Summary In Ukraine, Miyazaki worked with children to make a painting based on a story about a lost (). All kinds of animals climb into the mitten to stay warm. The painting shows a big mitten with Easter eggs. People from all over the world climb in. Their () hearts bring the egg of () and bring (). Miyazaki still has not found out who he is as an artist. But he has learned one thing	

クラウン英語コミュニケーション

デジタル
コンテンツ
紹介ページ

13

指導用各種データ一覧



■ レッスンごとのデータ

※Readingは一部内容が異なります。
※内容は一部変更になる可能性があります。

1	題材資料	題材資料	各レッスンの題材資料PDF
2	評価問題	①評価問題A1	文法・語彙・表現確認問題
		②評価問題A2	本文を使った問題
		③評価問題A3	本文を使った4択問題
		④評価問題A4（題材関連英文）	題材関連英文の長文問題
		⑤評価問題A1（英語指示文）	上記①～④の問題を英語指示文にしたもの
		⑥評価問題A2（英語指示文）	
		⑦評価問題A3（英語指示文）	
		⑧評価問題A4（英語指示文）	
		⑨Check Test	各セクションの確認問題
		⑩Challenge問題	Challengeの確認問題
		⑪単語・熟語小テスト	新出語・熟語の確認問題
3	教科書本文	①教科書データ	教科書テキストのすべてを収録
		②本文データ	レッスン本文のみのデータ
		③通し読みシート	レッスンの通し読みができるシート（内容確認問題付き）
4	スラッシュ入り本文	①スラッシュ入り本文A	標準的な長さ に区切ったもの
		②スラッシュ入り本文B（訳付き）	和訳をつけたもの（Excel）
5	穴あき本文	①穴あき本文A（新出語）	新出語部分が穴あき
		②穴あき本文B（新出語の頭文字入り）	（ ） 内に最初の1文字入り
		③穴あき本文C（内容語）	内容語部分が穴あき
6	Easy Version	Easy Version	本文を平易な英語で書き換えたもの
7	訳文	①訳文A	教科書本文の和訳
		②訳文B（新出語部分が穴あき）	①の新出語部分が穴あき
		③訳文C（内容語部分が穴あき）	①の内容語部分が穴あき
8	本文理解・サマリー	①Q&A	各セクションのQ&Aと補充問題
		②TF	各セクションのTFと補充問題
		③サマリーA（英語）	各セクションのサマリー（英語）
		④サマリーB（日本語）	各セクションのサマリー（日本語）
		⑤情報の整理A（日本語）	各レッスンの内容を表で整理（日本語）
		⑥情報の整理B（英語）	各レッスンの内容を表で整理（英語）
		⑦課末解答	Review & RetellとPracticeの解答
		⑧セクション和訳・解答	各セクションの和訳と問題の解答
9	その他	①Listen Up	Listen Upのスキriptと和訳
		②Oral Introduction	各レッスン、各セクションのOral Introductionのスキript
		③Grammar補充例文	各セクションで学習した文法の補充例文
		④Activity Cornerスキript	Listenのスキriptと和訳

9	その他	⑤Activity Cornerワークシート	Activity Cornerで利用できるワークシート
		⑥Activity Cornerループリック案	Activity Cornerで利用できるループリック
		⑦授業用ワークシート	授業で利用できるセクションごとのワークシート
		⑧題材関連英文	評価問題④の英文
10	図版	①リテリング活動用図版	各セクションのリテリング用の素材シートと図版データ
		②教科書掲載以外の図版	追加の写真・図版などのデータ（掲載のないレッスンもあります）
11	ワークブック	①ワークブック スタンダード版	ワークブック スタンダード版の文字と解答データ
		②ワークブック アドバンスト版	ワークブック アドバンスト版の文字と解答データ
12	投影用データ	①本文	パラグラフごとの本文と和訳
		②本文（1文ごと）	1文ごとの本文と和訳
		③本文（スラッシュ）	スラッシュ入りの本文と和訳
		④TF_Comprehension	各セクションのTF、Comprehensionの文字と解答
		⑤単語フラッシュカード	新出語・熟語
		⑥Activity Corner	Activity Cornerの授業用スライド

■ 各レッスン外のデータ

13	その他教科書テキスト	各レッスン以外のテキストデータ	Starterや課間のコーナー、付録など
14	単語リスト他	①単語リスト	全ての新出語のリスト（アルファベット順）
		②熟語リスト	全ての熟語のリスト（アルファベット順）
		③新出語の英英語義	新出語リスト・和訳・発音記号・例文・英英語義・CEFR-Jレベル付き
15	その他テスト	①パフォーマンステスト	Speaking、Writingのテスト3回分
		②リスニングテスト	Listeningのテスト3回分（音声データ）
		③大学入学共通テスト型問題	3回分
		④定期テスト案	「知技」「思判表」を明記した定期テスト案
16	授業案	英語での授業案	レッスン1の授業案、ハンドアウト例、各課の入れ替え素材、パフォーマンステスト案など
17	教科書紙面PDF		
18	教師用指導書『解説と指導』紙面PDF		
19	『マイウェイ総合英語』紙面PDF		
20	ワークブック音声		

■ その他ご利用いただけるデータ

1	ことまな辞書（教師用）『ウィズダム英和辞典 第4版』『ウィズダム和英辞典 第3版』『エースクラウン英和辞典 第3版』
2	評価支援ツール（観点別評価～評定換算表）
3	指導者用デジタル教科書（教材）
4	自動問題作成プログラム「ことまなT」
5	Googleフォーム解答用フォーム（評価問題／ワークブックに対応）

- ▶Teacher's Manual の冊子『解説と指導』の紙面PDFが付属しています。
本文検索が可能で、学習事項のインデックスとしてもお使いいただけます。

- ▶各レッスンに題材資料をご用意しています。
題材に関連する情報や、参考文献・ウェブサイトのURLなども掲載しています。

Lesson 4

LESSON

4

教科書 pp.56 ~ 67

Messages from Winnie-the-Pooh

1. 課のねらい

題 材

概 要	総語数		新出語数
『クマのプーさん』シリーズのエピソードを通して作者が伝えようとしたメッセージを理解し、それについて考える。	全体	329 語	25 語
	S1	108 語	9 語
	S2	117 語	9 語
	S3	104 語	7 語

言語活動

留学生に紹介する日本の物語を提案しあう場面で、自分が選んだ物語の内容と特徴を伝えたいうえで、やり取りができるようにする。

言語材料

セクション	言語材料	ターゲット文
1	現在完了形	I have read this book many times since I was a child. The book has been popular for about 100 years.
2	現在完了進行形	They have been walking around the tree.
3	過去完了形	I had not noticed these messages until I read the books again.

2. 題材の背景

『クマのプーさん』は 1926 年に発表されたイギリスの児童文学である。クマのぬいぐるみのプーと森の仲間たち、それに少年のクリストファー・ロビンの日常が 10 編で描かれている。1928 年に続編である『プー横丁にたった家』が出版された。著者はイギリスの作家 A. A. ミルン、絵は同じくイギリスの挿絵画家 E. H. シェパードが描いた。作品は発売当初から人気を集め、多数の言語に翻訳されるとともに、1960 年代からディズニーによってアニメーション化された。

3. 題材資料データに掲載の項目

1. A. A. ミルンについて
2. E. H. シェパードについて
3. 『クマのプーさん』の作品について
4. キャラクター
5. プーのモデルについて
6. 内容について
7. クリストファー・ロビンの成長と別れ

Lesson 4

Messages from *Winnie-the-Pooh*



A.A.ミルン(右)と、息子のクリストファー・ロビン(左)

1. A.A.ミルンについて

A.A.ミルン(アラン・アレクサンダー・ミルン)はイギリスの作家で、1882 年 1 月 18 日にロンドンで生まれた。1888 年に父が経営するヘンリー・ハウス・スクールに入学。その後ウエストミンスター・カレッジでは数学を学んだ。大学に入学後、学生雑誌『グラタ』の編集長となり、作品の執筆などに携わる。また、学生時代から風刺雑誌『パンチ』にも作品が掲載された。大学卒業後はさまざまな雑誌に作品を寄稿する一方、『パンチ』で編集アシスタントとしても働く。

1913 年にダフネと結婚した後、ミルンは『パンチ』からの脱出を考え、劇を書くようになる。第一次世界大戦中は兵營の娯楽用に滑稽風の劇を書くが、戦後は探偵小説の執筆や劇評なども行っていた。1920 年、息子クリストファー・ロビンが誕生。同年、『ピム氏が通る』*Mr. Pim Passes By* という劇で成功を収める。ミルンが子ども向けの本を書くようになったきっかけは、1922 年に妻ダフネへ贈った『夕べの祈り』*Vespers* という詩である。これを書いた数か月後、子ども向け雑誌に『やまねお医者』*The Dormouse and the Doctor* という詩を書く。この詩の読者から子どもの詩の単行本を出すことを勧められ、出版した作品が『ぼくたちがとてもいさかったころ』*When We Were Very Young* (1924 年)であった。E.H.シェパードが挿絵をつけたこの童話集(詩集)は、間もなくベストセラーとなり、その後同様にシェパードが挿絵を担当した『クマのプーさん』*Winnie-the-Pooh* (1926 年)、『ぼくたちは六歳』*Now We Are Six* (1927 年)、『プー横丁にたった家』*The House at Pooh Corner* (1928 年)を出版。ミルンの作家としての地位は確固たるものとなった。

これら一連の作品でミルンは大成功を収めたが、彼にとっても子どもの本は偶然の所産であり、自分の本領であるとは考えていなかった。以後ミルンは 1 つの例外を除き、子ども向けの作品を執筆することはなかったが、その後の作品で大きな評判を得ることはできなかった。

晩年は心臓発作や、脳の手術による辛い生活などを強いられている。1956 年 1 月、74 歳で生涯を終えた。

2. E.H.シェパードについて

E.H.シェパード(アーネスト・ハワード・シェパード)は、1879 年にロンドンで生まれた。建築家の父を持ち、幼いころから画才を見せた彼は、王立美術院学校で学ぶ。その後、1904 年に『パンチ』の創始者を祖父に持つフローレンスと結婚。

を作って歌っている。「いやんなっちゃう!」が口癖。

クリストファー・ロビン(Christopher Robin)

森(100 AKER WOOD)で一番好き。みんなに公平で、いつもやるべきことがわかっているため仲間たちに頼りにされている。好きなことは「なにもしていないこと」。プーを敬愛している。

ピグレット(Piglet)

控えめで気は小さいが、仲間思いのこぶた。時々勇気を出して仲間を助ける。プーの親友で一番の理解者。どんぐりが好物。

イーヨー(Eeyore)

心配性でとても悲観的な性格のロバ。じめじめした「しめっ地」で暮らしている。横な役回りになってしまふことが多い。仲間たちと過ごすようになり少し前向きになった。

トラー(Tigger)

元気なはねっかえりのトラの子。強気な言動で森に騒動を起こす。『プー横丁にたった家』で、一番最後に仲間に加わる。絶対に道に迷わない。

ウサギ(Rabbit)

いつも予定があってせわしないうさぎ。みんなをまとめるのが大好きな仕切り屋だが、実はそれがいけない。たくさん「親せき友人」がいる。

カンガルー(Kanga & Roo)

カンガルーの親子。母親のカンガは愛

情深く面倒見がいい。トラーの面倒見をしている。子どものルーは好奇心旺盛。ルー坊と呼ばれている。

フクロ(Owl)

森で一番物知りなフクロウ。読み書きもでき、仲間にも頼りにされている。難し言葉をよく使っている。好きな言葉は「いげん」を大切にしている。

5. プーのモデルについて

クマのプーは、クリストファー・ロビンが持っていたクマのぬいぐるみがモデルになっている。このぬいぐるみは、クリストファー・ロビンが 1 歳のときに誕生日プレゼントとして購入されたものである。



ディンベアをもらったクリストファー・ロビン

キャラクターのもとになったぬいぐるみは他にもあり、イーヨーはクリストファー・ロビンが 1 歳のときのクリスマスプレゼント、ピグレットは隣人からブレ

婚。一男一女をもうけた。フローレンスとはその後 1927 年に死別し、1943 年に二番目の妻ノーラと再婚している。



E.H.シェパード

在学中からミルン同様『パンチ』への掲載を目指して活動し、1907 年に初めて風刺漫画が掲載されると、1914 年までには定期寄稿者となる。さらに 1921 年からは編集にも携わるまでになり、シェパードにとっても『パンチ』との関係は 1953 年まで続く長いものとなった。

挿絵画家としてミルンの作品を担当する頃からシェパードは既にその地位を確立していたが、『ぼくたちがとてもいさかったころ』の挿絵が好評を博したことから、以後、他の作家の作品の挿絵にも多く携わる。

代表的な仕事として、ケニス・グレアム『たのしい川べ』*The Wind in the Willows* の 1931 年に出版された新版や、リチャード・ジェフリーズ『ビーヴィーズ』*Bevis* の新版(1932 年)があげられる。1976 年に 96 歳で死去。亡くなる直前までプーの絵を描き続けた。

3. 『クマのプーさん』の作品について

『クマのプーさん』は 1926 年に発表

された児童物語である。ハチミツが好きなクマのぬいぐるみのプーと森の仲間たち、そしてクリストファー・ロビンとの日常が 10 編のエピソードに描かれている。発表当時から広く人気を集め、多数の言語に翻訳されている。また、1960 年代からはディズニーによってアニメーション化された(ただし、一部キャラクターの設定などが、原作とは異なっている)。前書きでは、前書きである『ぼくたちがとてもいさかったころ』に添えられるとともに、クマに『Winnie-the-Pooh』と名付けたいさつや、キャラクターのビグレットについて書かれている。

童話集『ぼくたちがとてもいさかったころ』は、3 歳の息子クリストファー・ロビンのために作られた童話など 44 編を集めたものである。本作にもクマのぬいぐるみが登場するが、プーは白鳥の名として付けられている。その後、6 歳に成長したクリストファー・ロビンのために作られた童話 35 編を集め、『ぼくたちは六歳』も作られた。プーが登場するミルンの作品のうち、この 2 作は童話集で、児童物語集としては、『クマのプーさん』の後に『プー横丁にたった家』が 1928 年に出版されている。

4. キャラクター

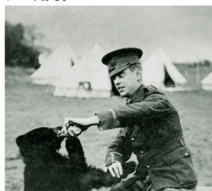
『クマのプーさん』には、さまざまなキャラクターが登場する。どれもユニークで、魅力にあふれている。

プー(Winnie-the-Pooh)
ハチミツが大好きなクマ。礼儀正しく、仲間思いでやさしい。ご馳走が目がなく、何度もピンチにおちいる。よく即興で詩

ズントされたものである。また、執筆が進むとミルンは新たにカンガとルー、トラーのぬいぐるみを購入した。それに対し、ウサギとフクロは特定のモデルが存在せず、ミルンが創り出したものである。作中で、人間であるクリストファー・ロビン、そしてウサギ、フクロ以外のキャラクターがぬいぐるみという設定になっているのは、以上のような経緯がある。

『Winnie-the-Pooh(ウィニー・ザ・プー)』という名前は 2 種類の動物の名前に由来する。

まず「ウィニー」は、当時ロンドン動物園で人気だったメスの黒いクマの名前であった。このクマはもともと、カナダの砲兵第 2 旅団に獣医師として所属していたハリー・コルバーン中尉が飼っていたクマである。



コルバーン中尉とクマのウィニー

彼は第 1 次世界大戦の戦地へ向かう途

中、獣師が連れていた孤児の子グマを購入する。その際、中尉の故郷ウィニペグ(Winnipeg)にちなんでクマを「ウィニー」と名づけた。その後コルバーンの隊はクマとともにイギリスに渡るが、隊のフランス進駐に伴い、ウィニーはロンドン動物園に預けられることとなる。動物園でそのクマを見たクリストファー・ロビンは、ウィニーが大好きなお気に入りとなる。園の中に入ることが許され、一緒に遊ぶこともあったそう。

一方、「プー」はクリストファー・ロビンが白鳥に付けた名前に由来する。この白鳥は、親子が訪れていたウエスト・サセックスのボーリングにいた白鳥である。クリストファー・ロビンは彼のぬいぐるみに名前を付ける際に、この 2 種類のお気に入りの動物の名前を付けたのだ。

先述の通り、プーの物語はクリストファー・ロビンが持っていたぬいぐるみがモデルである。一方、挿絵として描かれたプーは、シェパードの息子が持っていたクマのぬいぐるみがモデルとなっている。クリストファー・ロビンのクマはほっそりしているのに対し、シェパードの息子のクマはふっくらとしており、後者の方が物語の主役に通じていたためモデルとして選ばれたのだ。

6. 内容について

『クマのプーさん』は、作者の A.A.ミルンが、息子のクリストファー・ロビンとぬいぐるみのクマのプーに、プーが出てくる話を語って聞かせるという形で始まっている。プーの暮らす森を舞台に、森の仲間たちとの間で起きたさまざまな

■評価問題（思判表シートを含む）

▶本文を使った総合問題、初見の関連英文を用いた問題、パフォーマンステスト、定期テストにも使える全3回のスピーキング・ライティングテストをご用意しています。

Lesson 3 総合問題 A

Class _____ No. _____ Name _____

①下線部の発音が同じものを5つ選び、記号を○で囲みなさい。(完答5点)

ア guest イ painting ク frighten ニ stay オ creation
カ peaceful キ bright ク break ケ anger コ dangerous

②各組のもっとも強く発音する母音が同じであり、異なるついでに×を書きなさい。(2点×5)

1. super : sup- ply () 2. recognize : rep- re- sent ()
3. nowhere : snow- y () 4. career : drag- on ()
5. col- laboration : deco- rate ()

③指定された文字で始めて、次の空欄にあてはまる英語1語を書きなさい。(2点×5)

1. a strong feeling that you have when you have an unhappy experience (a)
2. a person who is invited to someone's home (g)
3. to cause so much damage to something (d) け damage 被害
4. the act of working together with another person or group to produce something (c)
5. a child who lost his or her parents (o)
1.() 2.() 3.() 4.() 5.()

④日本語を参考に、()に適切な語を入れなさい。指定があればその文字で始めなさい。(2点×5)

1. その兄弟は危険に直面しても落ち着いていた。
The brothers kept cool in () () danger.
2. 自動車事故から回復した時、私は以前にろうと決しました。
I () () () to be a doctor when I recovered from the car accident.
3. ひょっとしてこの写真の女性をご存じではありませんか。
Do you (h) () know the woman in this picture?
4. その事故はジェーンと僕を引き合わせてくれた。
The accident (h) Jane and me ().
5. この映画は、ある有名な俳優が書いた物語が元になっている。
This movie () () () a story written by a famous actor.

⑤以下の文を読んで設問に答えなさい。(合計45点)

Mariupol was not a safe place for an art project. But (ア) my surprise, when I (あ) painting, children came out (イ) nowhere to join me.
We painted a big mitten. The idea is based (ウ) a popular Ukrainian story, *The Magic Mitten*. In the story, one snowy night, an old man (い) his mitten. A mouse, a frog, a rabbit, a fox, a wolf, and many other animals climb into the mitten to stay warm.
In our painting, you (う) people from all over the world (of / huge mitten / sharing / a / the / warmth). It is decorated with (which / Easter eggs / life / and hope / represent). Our painting (え) that people's warm hearts can hatch the egg of hope and bring a peaceful life (エ) us all.

I still do not (お) a clear answer to the question: Who am I as a person and as an artist? But one thing has become clear: my art has the power to make people "super happy."

1. (ア) ~ (ニ) に入れる最も適切なものを①~④から選び、その記号を○で囲みなさい。(3点×4)

(ア) ① for ② to ③ in ④ at
(イ) ① of ② from ③ for ④ to
(ウ) ① on ② in ③ for ④ at
(エ) ① into ② from ③ with ④ to

2. (あ) ~ (お) に入れる最も適切なものを()から選びなさい。必要に応じて適切な形(1語)にすること。(3点×5)

have	drop	see	show	start	ask
------	------	-----	------	-------	-----

(あ) () (い) () (う) ()
(え) () (お) ()

3. 下線部①②の()内の語句を、意味が通るように並べかえなさい。(各4点)

① []
② []

4. ミヤザキさんがずっと自分に対して問いかけてきた問いは何か日本語で答えなさい。(5点)

[]

5. 本文の内容について、次の問いに英語で答えなさい。(各6点)

A. What is the question which he has long asked himself? []
B. What is the thing that has become clear to Miyazaki? []

⑥ ()内の語句を使って、次の文を英語に直しなさい。()内の語句は必要に応じて適切な形にすること。(4点×6)

1. 聞いたことに、先週の日曜日私たちのチームは決勝でその強豪チームに勝ちました。
(strong team, final) []
2. 週末には私はテレビゲームをして多くの時間を過ごしました。 (video game) []
3. 近所に彼らが世界中で買ったたくさんのもので飾られています。 (living room) []
4. これは叫喚状が話してくれた物語です。 (which, by) []
5. あそこにいる少年をごらんください。彼に両眼が宇宙飛行士である少年です。
(whose, astronaut) []

Lesson 4 Messages from *Winnie-the-Pooh* 評価問題 A-3

「1」 次の英文はある生徒が自分の好きな本を紹介したものです。英文を読み、解答番号()~()にあてはまるものとして最も適当な選択肢を選びなさい。

Today, I'd like to introduce one of my favorite books, *Winnie-the-Pooh*. I have read this book many times () I was a child.
The book was written by A. A. Milne, a British author, in 1926. It is about Winnie-the-Pooh and his friends. Pooh spends his days in a forest with Christopher Robin, Piglet, Eeyore, and some other animals. Every character is unique.
How did the author create these characters? Milne had a son, Christopher Robin. Christopher Robin played with many stuffed animals. He and the stuffed animals became models for the characters in the book. The book has been popular around the world () about 100 years.

問1 Choose the best for each of () and () in the passage. (各6点)

① when ② for ③ since ④ until

問2 Christopher Robin () (10点)

① likes *Winnie-the-Pooh* and has read it many times
② wrote a book about his stuffed animals
③ became one of the models for the characters in a book
④ loved many stuffed animals his father made

問3 According to the passage, which of the following is true? () (10点)

① The student has many books written by Milne.
② Each of the characters in *Winnie-the-Pooh* is unique.
③ Milne got an idea for his book from his own childhood.
④ The book written by Milne is not read so much today.

「2」 次の英文はある生徒が自分の好きな本を紹介したものです。英文を読み、解答番号()~()にあてはまるものとして最も適当な選択肢を選びなさい。

Recently I read *Winnie-the-Pooh* again. Then I found some new messages in the book.
Here is one example. Pooh and Piglet find footprints in the snow and follow them around a tree. They wonder, "Whose footprints are these?" They have been walking around the tree. After a while, they realize that the footprints are their own. Pooh gets () with himself and says to Christopher nearby, "I have been foolish, and I am a bear of no brain at all." Christopher responds, "You're the best bear in all the world."
Christopher probably means, "Don't worry. I like you as you are." The characters in this book all respect each other and accept others as ().

問1 Choose the best for () in the passage. (6点)

① satisfied ② happy ③ excited ④ disappointed

問2 Choose the best for () in the passage. (6点)

① they are ② their models
③ itself ④ well as them

問3 Why does Pooh say, "I have been foolish"? () (10点)

① Because he couldn't find any footprints in the snow.
② Because he thought his own footprints as someone else's.
③ Because he didn't realize that Christopher was nearby.
④ Because he didn't know what to say to Christopher.

問4 According to the passage, which of the following is true? () (10点)

① The student read the book for the first time recently.
② In the story, Pooh and Piglet follow each other around a tree.
③ In the story, Christopher respects Pooh and encourages him.
④ The student cannot understand any messages in the book.

「3」 次の英文はある生徒が自分の好きな本を紹介したものです。英文を読み、解答番号()~()にあてはまるものとして最も適当な選択肢を選びなさい。

I also read *The House at Pooh Corner*. The book has heartwarming messages, too. The last episode is especially moving. Christopher tells Pooh that he cannot see Pooh for a while because he has to start school. Christopher says, "Pooh, promise you won't forget about me, ever. () when I'm a hundred." Pooh asks, "How old will I be then?" Christopher answers, "Ninety-nine." Then Pooh says, "I promise." This interaction shows that real friendships last for a long time.
I had not noticed these messages until I read the books again. Both of the books have meaningful messages for us, high school students.

問1 Choose the best for () in the passage. (6点)

① Especially ② Only ③ Not even ④ Not only

問2 The student noticed messages in the books () (10点)

① when he/she read them again
② before he/she became a high school student
③ only after he/she read the last episode
④ because he/she read them with friends

問3 What message did the student learn from *The House at Pooh Corner*? () (10点)

① We can start learning at any age.
② Everyone gets older.
③ Saying good-bye is part of life.
④ Real friendships never end easily.

Lesson 4 Messages from *Winnie-the-Pooh* 評価問題 A-2

「1」 次の英文を読んで、以下の設問に答えなさい。

Today, I'd like to introduce one (ア) my favorite books, *Winnie-the-Pooh*. (い) many / have / book / times / I / this / read / I since I was a child.
The book was written by A. A. Milne, a British author, in 1926. It is about Winnie-the-Pooh and his friends. Pooh spends his days (イ) a forest with Christopher Robin, Piglet, Eeyore, and some other animals. Every character is unique.
②How did the author create these characters? Milne had a son, Christopher Robin. Christopher Robin played with many stuffed animals. He and the stuffed animals became models for the characters in the book. The book () has been popular around the world for about 100 years.

(1) 空所(ア)、(イ)に入る最も適切な前置詞を、それぞれ下から選んで書きなさい。(各4点)

(ア) _____ (イ) _____
in to of for

(2) ①の()内の語句を、意味がとおるようにならべかえなさい。(4点)

(3) 下線部②の問いかけに対する答えを日本語で表す場合に、下の()内に入ることばを書きなさい。(各3点)

自分の()とこの遊び相手である()と本の登場人物の()にした。

(4) 下線部③と同じ用法の現在完了が使われている文を下のア〜ウから選び、記号で答えなさい。(4点)

ア He has been in London since last year.
イ My father has been to India before.
ウ Tom has just been to the station. ()

(5) 次の問いに英語で答えるとき、()に満する語を書きなさい。(6点)

When did Milne write the book, *Winnie-the-Pooh*?
— He _____.

「2」 次の英文を読んで、以下の設問に答えなさい。

Recently I read *Winnie-the-Pooh* again. Then I found () some new messages in the book.
Here is one example. Pooh and Piglet find footprints in the snow and follow them around a tree. They wonder, "Whose footprints are these?" They () around / been / the tree / walking / have I. After a while, they realize that the footprints are their own. Pooh gets disappointed with himself and says to Christopher nearby, "I have been

foolish, and I am a bear () of no brain at all." Christopher responds, "You're the best bear in all the world."
Christopher probably means, "Don't worry. I like you as you are." The characters in this book all respect each other and accept others as they are.

(1) 下線部①について、その例として挙げられているものを日本語で表す場合に、下の()内に入ることばを書きなさい。(各3点)

互いを()し、()を()に受け入れることの大切さ。

(2) ②の()内の語句を、意味がとおるようにならべかえなさい。(4点)

(3) 下線部③とはほぼ同じ内容を表す1語を文中から探して書きなさい。(4点)

(4) 次の各文が本文の内容に合っていればTを、違っていればFを書きなさい。(各4点)

[1] Some messages can be found in *Winnie the Pooh*. ()
[2] Pooh and Piglet want to know who made footprints in the snow. ()
[3] Christopher tells Pooh and Piglet that the footprints are their own. ()
[4] Christopher actually says to Pooh, "I like you as you are." ()

「3」 次の英文を読んで、以下の設問に答えなさい。

I also read *The House at Pooh Corner*. The book has heartwarming messages, too. The last episode is especially moving. Christopher tells Pooh that he cannot see Pooh (ア) because he has to start school. Christopher says, "Pooh, promise you won't forget about me, ever. Not even when I'm a hundred." Pooh asks, "(イ) will I be () then?" Christopher answers, "Ninety-nine." Then Pooh says, "I promise." () This interaction shows that real friendships last () (イ).
③I had not noticed these messages until I read the books again. Both of the books have meaningful messages for us, high school students.

(1) それぞれ次の意味になるように、空所(ア)、(イ)にあてはまる語句を書きなさい。(各4点)

(ア) しばらくの間(3語) _____ a _____
(イ) 長い間(4語) _____ a _____

(2) 空所(A)に適切な語句を2語で書きなさい。(4点)

(3) 下線部①を次のように言いかえる場合に、空所に満する語を書きなさい。(5点)

when you _____

(4) 下線部②について具体的に日本語で表す場合に、下の()内に入ることばを書きなさい。(各3点)

Lesson 4 Messages from *Winnie-the-Pooh* 評価問題 A-4 (題材関連英文)

次の英文を読んで、以下の設問に答えなさい。

Another Message from *Winnie-the-Pooh*
Here, I'd like to introduce another good message from *Winnie-the-Pooh*. It's about (ア).
In one episode, two kangaroos suddenly appear in the forest: Kanga is a calm and kind mother, and Roo is a nice and cheerful boy. However, the animals in the forest are surprised because Kanga puts Roo in her "pouch"! () They find this very strange. The kangaroos are very () from the animals in the forest. They think that the kangaroos should leave.
One day, the animals "take Roo away from Kanga's pouch. Then, they hide Roo in Rabbit's house. Surprisingly, Roo has a good time with Rabbit. () Roo even teaches Pooh to jump!
Finally, all the animals in the forest become () with the kangaroos. This episode tells us that we should all accept each other and make friends with people who are new or different. We may learn something from () them, and we can be good friends.
"pouch" ② "take ~ away from ... ~を〜から連れ取る

(1) 空所(A)に入る最も適切な単語をア〜ウから1つ選び、記号で答えなさい。(4点)

ア the power of mothers' love
イ the rules of living in the forest
ウ the importance of accepting others ()

(2) 下線部①の内容を日本語で表すとき、下の()内に入ることばを書きなさい。(各4点)

()たちは、カンガルーの母親が子どもを()のを見て()だと思ふ。

(3) 空所(ア)、(イ)に入る最も適切な単語を、それぞれ文中から探して書きなさい。(各4点)

(ア) _____ (イ) _____

(4) 下線部②を Pooh を主語にしてほぼ同じ意味の文に書きかえるとき、下の()に適切な単語を書きなさい。(各4点)

Pooh _____ even _____ to jump _____ Roo!

(5) 下線部③の them が指すものを文中から6語で探して書きなさい。(6点)

(6) 次の各文が本文の内容に合っていればTを、違っていればFを書きなさい。(各4点)

[1] The two kangaroos have lived in the forest for a long time. ()
[2] It is surprising that Roo and Rabbit enjoy staying together. ()

※以下の評価問題をご用意しています。

①評価問題A1 文法・語彙・表現確認問題

②評価問題A2 本文を使った問題

③評価問題A3 本文を使った4択問題

④評価問題A4 題材関連英文の長文問題

⑤評価問題A1 (英語指示文)

⑥評価問題A2 (英語指示文)

⑦評価問題A3 (英語指示文)

⑧評価問題A4 (英語指示文)

※⑤〜⑧は上記①〜④の問題を英語指示文にしたもの

⑨Check Test 各セクションの確認問題

⑩Challenge問題 Challengeの確認問題

⑪単語・熟語小テスト 新出語・熟語の確認問題

■授業案

▶ レッスン1の授業案、ハンドアウト例、各課の入れ替え素材、パフォーマンステスト案などをご用意しており、授業準備にお役立ていただけます。

MY WAY English Communication I

Lesson 4 Introduction & Section 1 Teaching Plan 教科書 pp.56-59

1 時間目 (50 分)		
SCENE	教師の指示・生徒の活動	指導上の留意点
Greeting (10 分)	Hello, everyone. Let's begin today's lesson.	・挨拶で授業を進めら が、生徒の理解の状況 を見ながら、必要に応 じてヒントを出した り、日本語で説明を加 えたりする。
Ice-breaking 「クマのプーさん」についての導入	Do you know the book Winnie-the-Pooh? You may know the character Winnie-the-Pooh from Disney. What do you know about Winnie-the-Pooh? Yes, he is a bear. Anything else? What characters appear in the story? Talk with your partner about what you know about Winnie-the-Pooh. (ペアで話し合わせる。)	・「クマのプーさん」に 関する質問を投げか け、興味を引く。
Oral Introduction	Winnie-the-Pooh is one of the most famous children's books in the world. How was this book created? The key person is Christopher Robin, the son of the author, A. A. Milne. Thanks to Christopher Robin and his stuffed animal friends, we can now enjoy the world of Pooh.	
Pre-Reading レッスンへの導入 (10 分)	Now, please open your textbooks to page 56. The topic of this lesson is "Messages from Winnie-the-Pooh." Look at the pictures on page 56. Do you know the game Poohsticks? It is a simple game that can be played on any bridge over running water. Each player drops a stick on the upstream side of a bridge, and the one whose stick first	★教科書: Listen Up と For Your Information を活用 ★教科書: Listen up ・聞く前に写真を見て 内容に興味を引きつけ る。

1

	Now, read the passage and check whether these sentences are true or false. I'll give you X minutes. Ready, go! Share your answers with your classmates. If your answers are different, discuss the details and think about which is correct. OK. Now, check your answers together in class. If you think the answer is true, show me "パー", if you think the answer is false, show me "グー".	・全体で確認する前 に、ペアでの確認を入 れることで不安を和ら げる。どこにその情報 が書いてあったかも確 認させる。意見が違っ た場面に議論させるこ とで理解を促す。 ・全員参加で確認。時 にFの場合は間違っ ているポイントも確 認。 ・全体でシェアの際は 教員が先導しながら全 員で答えを言いながら 確認。その都度、内容 を英語でパラフレーズ しながら理解を促す。
②2nd Reading (10 分)	Next, open your textbooks to page 58. Read the passage again and fill in the blanks with the correct words. I'll give you X minutes to finish. ・ペアでシェア → 全体でシェア	

3

	appears on the downstream side is the winner. This game is first mentioned in <i>The House at Pooh Corner</i> . Now, listen to the dialog between Aki and Bob. Choose the correct answer for each box. OK, now let's check your answers with your partner. Then, answer the questions in "Talk Together." Share your answers with your partner. (生徒に子どものごくよく遊んだ遊びについて情報ペアで交換させる。)	・ペアで答えをシェア した後、全体で確認。 ★教科書: Talk Together ペアで資料交換。自分 の考えとその理由を伝 える練習。
単語チェック While-Reading (10 分)	Now, we will start Section 1. First, check the new words. ・音出単語。重要語句ワークシートを配布するな ど。 ・発音は発音記号を見てペアで確認してから全体 で確認。 ・始めは日本語で意味の確認、簡単な英語の言い換 えて説明なども可。 ・意味確認後、全員で発音練習 → ペアで発音。	・授業内で必要に応じ て、辞書を全11で引く 機会を作り、辞書の使 い方も指導。 ・音出単語は生徒自身 に発音を確認させてみ ら正しい発音を確認さ せると、発音記号を意 識するようになる。
内容理解 ①1st Reading (8 分)	Next, we will read Section 1. In Section 1, a student is talking about her favorite books in the classroom. The first reading task is "True or False." Before reading the passage, please check the meaning of these sentences. (1 分程度確認時間をとる。)	★ハンドアウト: Version 1 Task 1 ・読解→TF で内容確 認。 ・読解前に TF 問題の 内容を把握すること で、内容を意識して読 解を進めることができ る。

TF 問題	
(1) The student read the book for the first time.	(F)
(2) The author of the book was British.	(T)
(3) The stories are not popular any more.	(F)

2

■情報の整理 (日本語／英語)

▶ 書き込んでいながら本文内容を整理できるワークシートを、日本語・英語両方でご用意しています。

情報の整理 A (日本語) Lesson 4 Messages from Winnie-the-Pooh

セクション	内容
1	・『クマのプーさん』 作者: (①)) 書かれた年: (②)) 年 登場するキャラクター: (③)) (=主人公)、クリストファー・ロビン、ピグレット、 イーヨーなど → (モデル) 作者の息子とその (④)) 物語: プーが仲間たちと (⑤)) の中で過ごす
2	・『クマのプーさん』の中のエピソード プーとピグレットは雪の中で (⑥)) を見つける → それを誰の ものか見つけようとする ↓ (⑥)) ↓ (⑧)) ・エピソードが伝 お互いに (⑨)) きだ
3	・『プー横断』にた クリストファー いと伝える ↓ プーは、自分が と約束する ・エピソードが伝 真の (⑭))

【解答】
①A. A. ミルン ②1926 ③
⑥足跡 ⑦がっかり ⑧クリ
⑩最後 ⑫会え ⑬忘れ

情報の整理 B (英語) Lesson 4 Messages from Winnie-the-Pooh

セクション	内容
1	・ <i>Winnie-the-Pooh</i> Who wrote it?: (①)) When was it written?: in (②)) Characters: (③)) (= lead character), Christopher Robin, Piglet, Eeyore, and others. → models: The author's son and his (④)) Story: Pooh spends in a (⑤)) with his friends.
2	・ An episode of <i>Winnie-the-Pooh</i> Pooh and Piglet find (⑥)) in the snow. → try to find whose they are ↓ realize that the (⑥)) are their own → get (⑦)) ↓ (⑧)) cheered Pooh up. ・ A message from the episode We should (⑨)) each other, and accept others (⑩)) .
3	・ The (⑪)) episode of <i>The House at Pooh Corner</i> Christopher tells Pooh that he cannot (⑫)) Pooh for a while because school will start. ↓ Pooh promises not to (⑬)) about Christopher even when he is ninety-nine. ・ A message from the episode Real (⑭)) (⑮)) for a long time.

【解答】
①A. A. Milne ②1926 ③Winnie-the-Pooh ④stuffed animals ⑤ forest
⑥footsteps ⑦disappointed ⑧Christopher (Robin) ⑨respect ⑩as they are
⑪last ⑫see ⑬forget ⑭friendships ⑮last

各レッスンの内容を表で整理します。

情報の整理B (英語) ▶

■スラッシュ入り本文

▶スラッシュ入り本文データは、標準的な長さに区切ったものと和訳をつけたもの(Excel)をご用意しています。

Lesson 4 Messages from <i>Winnie-the-Pooh</i>	Challenge The <i>Moomin</i> Series
Section 1	The <i>Moomin</i> series was written by Tove Jansson, / a Finnish illustrator and writer. // The series has nine books. //
Today, / I'd like to introduce / one of my favorite books, / <i>Winnie-the-Pooh</i> . // I have read this book / many times / since I was a child. //	The books are about the daily lives / of Moomintroll and other characters. // Every character has an interesting personality. // Moomintroll is kind and brave. // Sniff is a coward / and often cries. // Little My is honest. // Snuukin is calm, / and he likes freedom and music. //
The book was written by A. A. Milne, / a British author, / in 1926. // It is about Winnie-the-Pooh / and his friends. // Pooh spends his days in a forest / with Christopher Robin, / Piglet, / Eeyore, / and some other animals. // Every character is unique. //	These characters were created / based on Jansson's friends and family. //
How did the author create these characters? // Milne had a son, / Christopher Robin. // Christopher Robin played / with many stuffed animals. // He and the stuffed animals / became models for the characters / in the book. // The book has been popular / around the world / for about 100 years. //	The <i>Moomin</i> series describes a fantasy world, / but it also includes Jansson's dark memory / of WWII. // For example, / in her first book, / Moomintroll's father goes missing. // This reflects the real situation / during the war. // Through this series, / readers can enjoy the stories / and learn about Jansson's hope / for peace. //
Section 2	
Recently / I read <i>Winnie-the-Pooh</i> again. // Then / I found some new messages / in the book. //	
Here is one example, // Pooh and Piglet find footprints / in the snow / and follow them around a tree. // They wonder, / "Whose footprints are these?" // They have been walking around the tree. // After a while, / they realize / that the footprints are their own. // Pooh gets disappointed with himself / and says to Christopher nearby, / "I have been foolish, / and I am a bear / of no brain at all." // Christopher responds, / "You're the best bear / in all the world." //	
Christopher probably means, / "Don't worry. / I like you / as you are." // The characters in this book / all respect each other / and accept others / as they are. //	
Section 3	
I also read / <i>The House at Pooh Corner</i> . // The book has heartwarming messages, / too. //	
The last episode is especially moving. // Christopher tells Pooh / that he cannot see Pooh for a while / because he has to start school. // Christopher says, / "Pooh, / promise you won't forget about me, / ever. // Not even when I'm a hundred." // Pooh asks, / "How old will I be then?" // Christopher answers, / "Ninety-nine." // Then / Pooh says, / "I promise." // This interaction shows / that real friendships last / for a long time. //	
I had not noticed these messages / until I read the books again. // Both of the books / have meaningful messages for us, / high school students. //	

■Easy Version／サマリー

Easy Version▶本文を易しく書き換えた英文を、レッスンごとにご用意しています。

Lesson 4 Messages from <i>Winnie-the-Pooh</i>	
Section 1	<i>Winnie-the-Pooh</i> was written by A. A. Milne, a British author, in 1926. It is about Winnie-the-Pooh and his friends. Milne's son and his stuffed animals became models for the unique characters in the book. The book has been popular around the world for about 100 years.
Section 2	There are some messages in <i>Winnie-the-Pooh</i> . For example, Pooh and Piglet find footprints and follow them around a tree. Then, they realize that the footprints are their own. Pooh gets disappointed with himself, but Christopher encourages him. The characters all respect each other and accept others as they are.
Section 3	<i>The House at Pooh Corner</i> has heartwarming messages, too. At the last episode, Christopher tells Pooh that they cannot meet for a while because school will start. Pooh promises not to forget about him even when he's a hundred. This interaction shows that real friendships last for a long time. Both books have meaningful messages.
Challenge	The <i>Moomin</i> series was written by Tove Jansson, a Finnish illustrator and writer. It is about the daily lives of Moomintroll and other characters. Every character has an interesting personality. The series also includes Jansson's dark memory of WW II. Through the series, readers can enjoy the stories and learn about Jansson's hope for peace.

サマリー▶各セクションのサマリーを英語と日本語でご用意しています。

Lesson 4 Messages from <i>Winnie-the-Pooh</i> (pp.54-65)	
p.56	
1 Today, /	今日 //
2 I'd like to introduce /	私は紹介したいと思います //
3 one of my favorite books, /	私の好きな本のひとつ //
4 <i>Winnie-the-Pooh</i> . //	『クマのプーさん』 //
5 I have read this book /	私は、この本を読んだことがあります //
6 many times /	何回も //
7 since I was a child, //	子どもの頃から //
8 The book was written by A. A. Milne, /	その本は、A.A.ミルンによって書かれました //
9 a British author, /	イギリスの作家である //
10 in 1926. //	1926年に //
11 It is about Winnie-the-Pooh /	それはクマのプーさんについてのものです //
12 and his friends. //	そして彼の友達たち //
13 Pooh spends his days in a forest /	プーは、森で日々を過ごしています //
14 with Christopher Robin, /	クリストファー・ロビンと一緒に //
15 Piglet, /	ピグレット //
16 Eeyore, /	イーヨー //
17 and some other animals. //	そしてその他の動物たち //
18 Every character is unique. //	すべての登場人物はユニークです //
19 How did the author create these characters? //	著者は、どのようにしてこの登場人物たちを生み出したのでしょうか //
20 Milne had a son, /	ミルンには息子がいました //
21 Christopher Robin. //	クリストファー・ロビンという //
22 Christopher Robin played /	クリストファー・ロビンは遊んでいました //
23 with many stuffed animals. //	たくさんのおもちゃで //
24 He and the stuffed animals /	彼とのおもちゃたちが //
25 became models for the characters /	登場人物のモデルになりました //
26 in the book. //	本の //
27 The book has been popular /	その本は人気であり続けています //
28 around the world /	世界中で //
29 for about 100 years. //	約100年の間 //
p.58	
1 Recently /	最近 //
2 I read <i>Winnie-the-Pooh</i> again. //	私は『クマのプーさん』を読み直しました //

3 Then /	そのとき //
4 I found some new messages /	新たなメッセージを見つけました //
5 in the book. //	その本に //
6 Here is one example. //	例をひとつあげます //
7 Pooh and Piglet find footprints /	プーとピグレットが足跡を見つけます //
8 in the snow /	雪の中で //
9 and follow them around a tree. //	そして木の周りを回ってそれらを追いかけます //
10 They wonder, /	彼らは、不思議に思います //
11 "Whose footprints are these?" //	「これは誰の足跡なんだろう」と //
12 They have been walking around the tree. //	彼らはずっと木の周りを歩き回っています //
13 After a while, /	しばらくして //
14 they realize /	彼らは気づきます //
15 that the footprints are their own. //	その足跡は自分たちのものだ //
16 Pooh gets disappointed with himself, /	プーは自分がつまづきます //
17 and says to Christopher nearby, /	そして近くにいるクリストファーに言います //
18 "I have been foolish, /	「ばかばかだ //
19 and I am a bear /	そしてぼくはクマなんだ //
20 of no brain at all." //	とつても頭のわるい」 //
21 Christopher responds, /	クリストファーは答えます //
22 "You're the best bear /	「きみは一番のクマだよ //
23 in all the world." //	世界の中で //
24 Christopher probably means, /	クリストファーはおそらく、言っています //
25 "Don't worry. /	「くよくよしないで //
26 I like you. /	僕はきみが好きだよ //
27 as you are." //	そのまゝの、と //
28 The characters in this book /	この本の登場人物は //
29 all respect each other /	皆お互いに尊敬しあっています //
30 and accept others /	そして他者を受け入れています //
31 as they are. //	あるがままに //
p.60	
1 I also read /	私もまた読みました //
2 <i>The House at Pooh Corner</i> . //	『プー横丁にたった家』を //
3 The book has heartwarming messages, /	その本には心温まるメッセージが溢れます //
4 too. //	また //
5 The last episode is especially moving. //	最後のエピソードは特に感動的です //

Lesson 4 Messages from <i>Winnie-the-Pooh</i> Easy Version	
Section 1	One of my favorite books is <i>Winnie-the-Pooh</i> . Today, I want to introduce the book. I have read this book many times since I was a child. A. A. Milne wrote <i>Winnie-the-Pooh</i> in 1926. A. A. Milne was a British writer. The book is about Winnie-the-Pooh and his friends. Pooh spends his days in a forest with Christopher Robin, Piglet, Eeyore, and some other animals. Every character is special and interesting. How did the writer make these characters? Milne had a son. The son's name was Christopher Robin. Christopher Robin played with many stuffed animals. Christopher Robin and the stuffed animals became models for the characters in <i>Winnie-the-Pooh</i> . The book became popular around the world about 100 years ago. The book is still popular now.
Section 2	Recently I read <i>Winnie-the-Pooh</i> again. When I read the book, I found some new messages in the book. For example, in one story, Pooh and Piglet find footprints in the snow. Pooh and Piglet go after the footprints around a tree. Pooh and Piglet think, "Whose footprints are these?" Pooh and Piglet have been walking around the tree. Some time later, Pooh and Piglet learn that the footprints are their own footprints. So Pooh gets disappointed with himself. Pooh says to Christopher standing by Pooh, "I have been foolish, and I am a stupid bear." Christopher answers, "You're the best bear in all the world." Christopher probably wants to say, "Don't worry. I like you as you are." All the characters in <i>Winnie-the-Pooh</i> respect each other and accept others as they are.
Section 3	I also read <i>The House at Pooh Corner</i> . The book has heartwarming messages, too. The last story is especially moving. Christopher tells Pooh that he cannot see Pooh for some time. He has to go to school. Christopher says, "Pooh, promise you will never forget about me. Promise you will not forget about me even when I'm a hundred years old." Pooh asks, "How old will I be when you are a hundred years old?" Christopher answers, "You will be ninety-nine years old." Then Pooh says, "I promise I will never

Lesson 4 Messages from <i>Winnie-the-Pooh</i>	
Section 1	『クマのプーさん』は、イギリスの作家A.A.ミルンによって、1926年に執筆されました。クマのプーさんと彼の友達たちについてのお話です。ミルンの息子とそのおもちゃたちが物語のユニークな登場人物のモデルになりました。この本は、約100年の間、世界中で人気を博しています。
Section 2	『クマのプーさん』にはいくつかのメッセージがあります。例えば、プーとピグレットは足跡を見つけて、木の周りをまわって足跡についていきます。それから、彼らは、彼らは自分たちのものだと思えます。プーはがつまづきますが、クリストファーは彼を元気づけます。登場人物は、皆お互いに尊敬しあい、他者があるがままに受け入れています。
Section 3	『プー横丁にたった家』にも心温まるメッセージがあります。最後のエピソードで、クリストファーはプーに、学校が始まるためしばらく会えなくなると伝えます。プーは、彼が百歳になっても彼のことを忘れないと約束します。この会話は、真の友情は長く続くということをしています。どちらの本にも意味のあるメッセージがあります。
Challenge	ムーミンシリーズは、フィンランド人のイラストレーター兼作家であるトーベ・ヤンソンによって執筆されました。それはムーミンマルやほかの登場人物の日常生活についてのものです。どの登場人物も面白い性格をしています。そのシリーズはまた、ヤンソンの第二次世界大戦の暗い記憶も含んでいます。シリーズを通して、読者はお話を楽しむことができ、ヤンソンの平和への願いを知ることができます。

■活動用WS／ルーブリック案／提示用パワーポイント

活動用ワークシート▶課末のコミュニケーション活動で使えるワークシート。

Lesson 4 Activity Corner

① Listen

	Title	Main Character	Story
Hana	うらしまたろう	●Name ●Feature	●
Kenji	かぐやひめ	●Name ●Feature	●

② Write

1 ① The main character is ②.
He (She) ③.
He (She) ④.
He (She) ⑤.

③ Speak
友だちが話したことをメモしよう。

Title	Main Character	Story
	●Name ●Feature	●
	●Name ●Feature	●

評価ルーブリック案▶言語活動の評価に使えるルーブリック。

Lesson 4 Messages from Winnie the Pooh Activity Corner A-ルーブリック案

	A	B	C
知識・技能 ※1	【文法・語法】 現在完了形や現在完了進行形を正確に扱っている。 【発音・イントネーション】 発音がほとんど正しい。	【文法・語法】 現在完了形や現在完了進行形の使用に小さな誤りがある。 発音・イントネーション 発音の誤りやイントネーションの誤りがある。	Bを満点としていない。
思考・判断・表現 ※2	留学生に紹介する日本の物語について、十分な情報でわかりやすく自分の意見と物語の内容を述べている。	留学生に紹介する日本の物語について、自分の意見と物語の内容を述べている。	Bを満点としていない。
主体的に学習に取り組む態度 ※3	留学生に紹介する日本の物語について、十分な情報でわかりやすく自分の意見と物語の内容を述べている。	留学生に紹介する日本の物語について、自分の意見と物語の内容を述べている。	Bを満点としていない。

※1 適切な文法・語法、構文表現、発音、イントネーションを意識して練習する。
※2 話の内容の論理展開や構成、全体のまとまりに注意する。
よりよく伝わるように、アイコンタクト、ジェスチャー、間、話すスピード、声の大きさなどを工夫する。
※3 ※2を達成するために自分の課題を見つけて「できるようにする」ために取り組む。

提示用パワーポイント▶投影用データとして、各種パワーポイントをご用意しています。

Lesson 1 Fonts and Communication Section 1 (p.16)

font(s)

Lesson 1 Fonts and Communication Section 1 (p.16)

フォント

Lesson 1 Fonts and Communication Section 1 (p.16)

2軒のパンケーキ店も同じパンケーキをメニューはわかれてるにこのお店がよい」とBのメニューはおしゃれで高価に見えます。「この店は高級なパンケーキを出すお店だ。特別なイベントのときに来た方がよい。」と思うかもしれません。

Lesson 1 Fonts and Communication Section 1 (pp.16-17)

Q&A

1. Are fonts the designs of shops?

— No, they aren't.

1 F

Lesson 1 Fonts and Communication Section 1 (p.16)

TF

1. The teacher pancakes.

一文ごと、スラッシュごとの本文、単語フラッシュカード、Q&Aなどの音声付きパワーポイントデータです。カスタマイズ可能ですので、様々なシーンでご活用いただけます。

■指導者用デジタル教科書（教材）

指導者用デジタル教科書（教材）▶多様なスタイルの授業展開を支えます。

アプリ版（PC、iPad）、クラウド版、それぞれで使うことができる指導者用デジタル教科書（教材）を教師用指導書に同梱！紙面表示・本文拡大表示や音声再生だけではなく、先生向けの機能やコンテンツを多数搭載し、テンポのよい授業展開を実現します。

デジタルコンテンツ紹介ページ



教師用指導書同梱

紙面表示 紙面に設定されたアイコンから豊富なコンテンツを呼び出し可能

紙面上から音声再生が可能

画面表示を改良しました！

片側ページを白画面表示にして板書が可能（左右切り替え可）

本文拡大表示

Fonts and Communication

Section 1

Fonts are the designs of letters. Different fonts give different impressions. When I was a high school student, I became interested in them. Look at the menus of two pancake shops. Both menus show the same pancakes. For some people, Shop A's menu looks pretty and casual. They may think, "This shop is good for lunch with my friends." For others, Shop B's menu looks

解答例表示

1. Are fonts the designs of shops?
A. No, they aren't.

2. What do both menus show?
A. They show the same pancakes.

3. What happens when we see the same information in different fonts?
A. Our impression of it changes.

新出語フラッシュカード

impression(s)

【主な機能】

- ・ Oral Introductionの音声再生
- ・ レッスン通し読み本文の表示・音声再生
- ・ フレーズリーディング表示
- ・ TF、Q&A、リスニング問題の音声再生
- ・ セクションサマリーの表示・音声再生
- ・ リテリング用イラスト表示
- ・ 各種タスクの解答表示／非表示
- ・ 題材リンクの表示
- ・ 授業ツール（タイマー、ストップウォッチ、ルーレット）
- ・ MY リンク（個別のリンク(URL)を保存できます）

指導用各種データ一覧



■ レッスンごとのデータ

※Enjoy Reading！は一部内容が異なります。
※内容は一部変更になる可能性があります。

1	題材資料	題材資料	各レッスンの題材資料PDF
2	評価問題	①文法・語彙・表現確認問題	各レッスンの確認問題
		②本文を使った4択問題	
		③本文を使った読解総合問題	
		④単語・熟語テスト	
3	授業案	①授業案	英語で授業をする際の参考授業案（L1に収録）
		②素材集	Oral Introduction、Easy Version、Q&A・T-F補充問題、授業のアレンジレシピ等、授業で使える素材集
		③CHALLENGE YOURSELF!	CHALLENGE YOURSELF!を英語でおこなう際の参考授業案
4	教科書本文	①本文データ	レッスン本文と教科書の文字データ
		②カナ発音付き本文	カナ発音を付けたレッスン本文
5	スラッシュ入り本文	①スラッシュ入り本文（訳なし）	標準的な長さ に区切ったもの
		②スラッシュ入り本文（訳付きA）	英文の下に訳を入れたもの
		③スラッシュ入り本文（訳付きB）	英文と訳とを左右に入れたもの
6	穴あき本文	穴あき本文	1語ずつ穴あきにした本文。訳付き
7	Easy Version	Easy Version	本文を平易な英語で書き換えたもの
8	訳文	①本文訳例	教科書本文の和訳
		②穴あき訳（新出語）	新出語部分が空欄の和訳
		③穴あき訳（新出語・文法）	新出語とターゲット文法部分が空欄の和訳
9	本文理解・サマリー	①穴あきサマリー	レッスン本文を日本語で要約してキーワード部分を穴あきにしたもの
		②QA・TF補充問題	各セクションのQ&A・T-F補充問題
		③教科書の問題の解答	教科書掲載の問題の解答および解答例
10	その他	①Oral Introduction	各レッスン、各セクションのOral Introductionのスキript
		②Optional Reading	レッスン本文に関連した内容の補充読み物
		③CHALLENGE YOURSELF! ループリック案	各レッスンのCHALLENGE YOURSELF!のループリック
		④新出語と連語	各レッスンの新出語と連語 （意味・発音記号・カナ発音・CEFR-Jレベル付き）
		⑤授業用ワークシート	授業中に使用できる各レッスンのワークシート

11	図版	教科書掲載以外の図版	追加の写真・図版などのデータ
12	ワークブック	①ワークブック	ワークブックの文字データ
		②ワークブック解答	ワークブック解答部分の文字データ
13	投影用データ	①新出語フラッシュカード	各セクションの新出語のフラッシュカード
		②本文	各セクションの本文と訳
		③スラッシュ入り本文	各セクションのスラッシュ入り本文と訳
		④Q&A	各セクションのQ&A

■ 各レッスン外のデータ

14	その他教科書テキスト	Get Ready!、のちゃんの英文法、ENJOY COMMUNICATION!、Look and Learn、Take a Break!、英語の音、基本動詞の不規則変化、句読法、音声スクリプト	各コーナーの文字データ
15	新出語と連語	新出語と連語	全ての新出語のリスト （意味・発音記号・カナ発音・CEFR-Jレベル付き）
16	その他テスト	①リスニング問題	全3回分。リスニングのテスト
		②ライティング問題	全3回分。ライティングのテスト
		③スピーキング問題	全3回分。スピーキングのテスト
		④基礎確認ワークシート	文法確認のワークシート
		⑤定期テスト案	「知技」「思判表」を明記した定期テスト案
17	クラスルーム 英語	BASIC CLASSROOM ENGLISH	授業の指示でよく使う英語表現
18	教科書紙面PDF		
19	教師用指導書『解説と指導』紙面PDF		
20	『マイウェイ総合英語』紙面PDF版		
21	ワークブック音声		

■ その他ご利用いただけるデータ

1	ことまな辞書（教師用）『ウィズダム英和辞典 第4版』『ウィズダム和英辞典 第3版』『エースクラウン英和辞典 第3版』
2	評価支援ツール（観点別評価～評定換算表）
3	指導者用デジタル教科書（教材）
4	自動問題作成プログラム「ことまなT」
5	Googleフォーム解答用フォーム（評価問題／ワークブックに対応）

▶Teacher's Manual の冊子『解説と指導』の紙面PDFが付属しています。
本文検索が可能で、学習事項のインデックスとしてもお使いいただけます。

LESSON

5

We Are Part of Nature

教科書 pp.66 ~ 75
● 配当時間時数 4 時間

課のねらい

ネコの写真で有名な動物写真家・岩合光昭氏を取り上げる。岩合氏はネコや野生動物の撮影で世界中の国々を訪れており、『ナショナルジオグラフィック』誌で日本人として初めて2度の表紙を飾っている。世界で活躍する岩合氏の、撮影の秘訣や自然への思いから、職業への意識と自然環境について考える。

● 言語材料 (*は中学既習事項)

セクション	言語材料	発展・関連事項
① (p.68)	*不定詞(名詞の働き) I want to know your secret.	STUDY IT! (p.72)
② (p.70)	*不定詞(副詞・形容詞の働き) I take them to show children wildlife. We have lessons to learn from nature.	

● 言語の使用場面 多様な手段を通して情報などを得る：職場での活動、学外でのインタビュー
● 言語の働き コミュニケーションを円滑にする：話題を発展させる、話題を変える
気持ちを伝える：感謝する 相手の行動を促す：質問する

題材解説

1. 岩合光昭

岩合光昭氏は日本の動物写真家の草分け的存在である岩合徳光氏を父に、1950年に東京に生まれる。大学在学中に、父の撮影にともなってガラパゴス諸島を訪れ、自然の驚異に圧倒された岩合氏は、卒業後、動物写真家としての道を歩み始める。以来、南極、アフリカ、オーストラリアなど地球上のあらゆる地域で自然を撮影してきた。世界的ベストセラーとなった写真集『おきて』をはじめとする多数の作品は、世界でも高い評価を得ている。

野生動物を撮影する一方で、身近な動物であるイヌやネコも撮影し続けており、NHK BSプレミアムのドキュメンタリー番組『岩合光昭の世界ネコ歩き』は、多くのファンを獲得している。

動物写真家として自然と対峙してきた岩合氏にとって大切なことは、ありのままに動物を見ることである。人間の側の解釈で捻じ曲げるのではなく、動物、自然の側から見るのが重要だという岩合氏の姿勢は、人間もまた自然の一部にすぎないという自然観に基づく。

2. ガラパゴス諸島

岩合氏が写真家になるきっかけとなったガラパゴス諸島は南米のエクアドル領で、本土とは約1,000キロ離れた東太平洋のほぼ赤道直下であり、イサベラ島やサンタクルス島などの19の島と、200あまりの小島や岩礁からなる火山群島である。

ガラパゴス諸島は大陸と陸続きになった歴史をもたないため、隔絶されて独自の進化を遂げた固有種が多く見られる。「進化の生きた博物館」と言われ、世界遺産第一号のひとつとなった。ガラパゴスイグアナ、ガラパゴスアシカなど数多くの固有種が存在する。

● 参考資料

① 『ユリイカ』(青土社、2019年3月号)
② 『岩合光昭の大自然100』(中央公論社、2006年)
③ IWAGO - 動物写真家 岩合光昭
<https://iwago.jp> (2022年1月閲覧)

「指導用各種データ1 題材資料」もご活用ください。

98

■ 題材資料

▶各レッスンに題材資料をご用意しています。
題材に関連する情報や、参考文献・ウェブサイトのURLなども掲載しています。

Lesson 5 We Are Part of Nature

1. 写真家・岩合光昭さん
2. ガラパゴスについて

1. 写真家・岩合光昭さん

1. 経歴

動物写真家、岩合光昭さんは、1950年11月27日、東京で生まれた。父は日本の動物写真家の草分け的存在である岩合徳光。少年期から写真に親しんでいた岩合さんが動物写真家を志したのは、1970年、法政大学経済学部在学中の19歳のときに、父の助手としてガラパゴス諸島を訪れたことがきっかけであった。岩合さんはこの時の経験について、「ガラパゴスで心を動かされたのは、珍しい生き物がいるということではなく、ごく当たり前のようにイグアナがいるという環境があることに感動したからだ」と、自然の驚異に圧倒されたことを述べている。

岩合さんは卒業後、動物写真家としての道を歩み始め、南極、北極圏など世界各地を取材、1978年には最初の写真集『LOVE CAT LOVE 愛するねこたち』(講談社)を発刊する。1987年、27歳のとき、雑誌アサヒグラフ(朝日新聞社)に世界中の海をテーマにした『海からの手紙』の連載を始めたことが、動物写真家として認められる契機となった。この企画では40か国を回り、2年3か月に及ぶ長期連載となり、連載中に木村伊兵衛写真賞を受賞した。

1982~84年にはアフリカ、タンザニアのセレンゲティ国立公園に妻、娘とともに1年半滞在して、野生動物の撮影をした。写真集『おきて』は全世界で20万部を超えるベストセラーとなった。1986~1988年には一家でオーストラリアに居を移し、野生動物を取材、撮影をするなど、その後もあらゆる地域の野生動物や大自然を撮影し続けている。

『おきて』の表紙のライオンの親子の写真は、日本人写真家として初めてナショナルジオグラフィックの表紙(1986年5月号)を飾る。さらに1996年の『スノーモンキー』と、日本人で初めて2度にわたってナショナルジオグラフィックの表紙を飾った岩合さんは、海外での評価も高い。独特の色とコントラストを持つ作品はIWAGO'S COLORと賞賛され、海外のメディアでも数多く特集されている。

ナショナルジオグラフィック

ナショナルジオグラフィックパートナーズ社の月刊誌。1888年、アメリカの非営利団体「ナショナルジオグラフィック協会」の公式雑誌として発行されたが、2015年、21世紀フォックス社に売却され、ナショナルジオグラフィックパートナーズの刊行物となった。表紙の黄色の枠を特徴とし、世界180か国以上で840万人に購読されている。写真の選定については厳格で、最高品質の記録写真を掲載してきたことでも知られる。多くのカメラマンが撮影してきた写真も、誌面に載るのは1万枚のうち1、2枚だという。

野生動物や大自然を撮影する一方で、身近な動物であるイヌやネコも撮影し続けており、数多くのファンを獲得している。2012年から開始したNHK-BSプレミアムのドキュメンタリー番組『岩合光昭の世界ネコ歩き』は、ネコブームをけん引し、岩合さんの知名度も大きく上がることとなった。2019年には映画『ねこことじいちゃん』で初の映画監督にも挑戦している。

現在も、岩合さんは世界中で精力的に取材をし続け、人間に飼われるイヌやネコと、野生動物の両方を視野に入れた活動を行っている。地

題材資料

ビスタ英語コミュニケーション

29

28

ビスタ英語コミュニケーション

▶ レッスンごとに、本文を使った問題のほか、文法、単語テストなどがあります。

LESSON 5

単語・熟語テスト

組 番号 氏名

- A. 次の意味を表す語を、与えられた文字に続けて書きなさい。
Using the given first letter, write the word that matches the Japanese meaning.
1. 写真家

p

2. 自然

n
3. コツ、鍵

k

4. 円、循環

c
5. 島

i

6. 野生動物

w
7. (時間) を過ごす

s

8. 機会

o
9. ～を覚えている

r

- B. 次の語の意味を書きなさい。
Write the meaning of the following words.
1. secret

()

2. lifestyle

()
3. really

()

4. chance

()
5. lesson

()

- C. 次の動詞の過去形を書きなさい。
Write the past tense of the following verbs.
1. go →

2. am →
3. have →

- D. 日本語の意味を表すように、空所に適切な1語を入れなさい。
Fill in the blank with a word that matches the Japanese meaning.
1. ～したいと思う

to

～
2. 写真を撮る

a photo
3. たくさんの～

a

of

～
4. ～する機会を得る

have an

to

～
5. ～の一部

of

～

ドリル編

LESSON 5 不定詞：名詞の働き／副詞の働き／形容詞の働き

ポイントチェック 不定詞の名詞の働き・副詞の働き・形容詞の働きの文のパターンを確認しよう。

	I am a tennis player.	私はテニスプレーヤーです。
不定詞 (名詞の働き)	I want to be a tennis player.	私はテニスプレーヤーになりたいです。※「～になること」を欲する。

※〈to + 動詞の原形〉(不定詞)は「～すること」という意味を表し、名詞の働きをします。

	We went to the park.	私たちは公園へ行きました。
不定詞 (副詞の働き)	We went to the park to play baseball.	私たちは野球をするために公園へ行きました。

※「～するために」という行動の目的を表すには、〈to + 動詞の原形〉(不定詞)を使います。

	I have a lot of things.	私はたくさんの物を持っています。
不定詞 (形容詞の働き)	I have a lot of things to do .	私はすべきことがたくさんあります。

※「～するための…、～すべき…」という意味を表すときには、〈to + 動詞の原形〉(不定詞)を使い、すぐ前の名詞を説明します。

TRY _____に適切な語を入れて、英文を完成させよう。

副詞の 働き	① We went to the zoo _____ a giant panda. (私たちはパンダを見るために動物園へ行きました。) ② She stopped _____ at the clock. (彼女は時計を見るために立ち止まりました。) ③ He studied hard _____ a doctor. (彼は医者になるために一生懸命勉強しました。)
名詞の 働き	④ _____ breakfast is important. (朝食を食べることは重要です。) ⑤ My dream is _____ around the world. (私の夢は世界一周旅行をすることです。) ⑥ I like _____ songs. (私は歌を歌うことが好きです。)
形容詞の 働き	⑦ I have a lot of food _____ today. (今日は料理する食物がたくさんある。) ⑧ I want a guitar _____. (演奏するためのギターがほしい。) ⑨ I want something cold _____. (何か冷たい飲み物がほしいです。)

■カナ発音付き本文／スラッシュ入り本文

▶ご指導と学習をサポートする、さまざまな本文データをご用意しています。

LESSON 5
We Are Part of Nature

SECTION 1

Emma: ①You're a popular animal photographer.// ②You really enjoy / taking cat photos
// ③I want to know your secret / for taking great photos!//

Iwago: ④Thank you.// ⑤My secret is to love cats.// ⑥To spend a lot of time with them
is the key.// ⑦When you understand their lifestyles, / you can find chances / for
wonderful photos.//

SECTION 2

Emma: ①You take photographs of nature, too.//

Iwago: ②Yes. ③I take them / to show children wildlife.// ④When I was 19, I went
to the Galapagos Islands / to help my father.//

Emma: ⑤You had opportunities / to see amazing wildlife there.//

Iwago: ⑥Right!// ⑦We have lessons / to learn from nature.//

Emma: ⑧We must remember that.//

◀カナ発音付き本文データ

LESSON 5
We Are Part of Nature

SECTION 1

Emma: ①You're a popular animal photographer.// ②You really enjoy / taking
cat photos.// ③I want to know your secret / for taking great photos!//
ネコの写真を撮ることを。 私はあなたの秘訣を知りたいです 素晴らしい写真を撮るための!

Iwago: ④Thank you.// ⑤My secret is / to love cats.// ⑥To spend a lot of time with
them / is the key.// ⑦When you understand their lifestyles, / you can find
chances / for wonderful photos.//
ありがとうございます。 私の秘訣は ネコを愛することです。 彼らと長い時間を過ごすことが
コツです。 彼らのライフスタイルを理解すれば、 あなたはチャンスを見つける
ことができます 素晴らしい写真のための。

SECTION 2

Emma: ①You take photographs of nature, too.//
あなた自然の写真も撮っています。

Iwago: ②Yes. ③I take them / to show children wildlife. ④When I was 19, I went
to the Galapagos Islands / to help my father.
はい。 私はそれらを撮ります 子どもたちに野生動物を見せるために。 19歳のとき、
私はガラパゴス諸島に行きました 父を手伝うために。

Emma: ⑤You had opportunities / to see amazing wildlife there.//
あなたは機会がありました そこでみごとに野生動物を見るための。

Iwago: ⑥Right!// ⑦We have lessons / to learn from nature.// ⑧We are part of it.//
その通りです! 私たちには教訓があります 自然から学ぶ。 私たちは自然の一部です。

Emma: ⑧We must remember that.//
私たちはそれを覚えておかなくてはなりません。

スラッシュ入り本文▶
標準的な長さに区切った
もの、英文の下に訳を入
れたもの、英文と訳とを
左右に入れたものをご用
意しています。

■Easy Version／穴あきサマリー

Easy Verion▶本文を易しく書き換えた英文を、レッスンごとにご用意しています。

VISTA English Communication I Easy Version

Lesson 5 We Are Part of Nature

【Easy Version of SECTION 1】
Emma is interviewing an animal photographer, Mr. Iwago Mitsuaki. Emma
says, "You're a popular animal photographer. You really enjoy taking cat photos." As
you can see in the textbook, he takes a lot of pictures of cats. She tells him, "I want to
know your secret for taking great photos!"
Mr. Iwago says, "Thank you. My secret is to love cats." He also says, "To spend
a lot of time with them is the key." Through spending time with them, you can
understand their lifestyles little by little. He goes on, "when you understand their
lifestyles, you can find chances for wonderful photos." That's the key and the secret to
take great photos.
(113)

【Easy Version of SECTION 2】
Emma says, "You take photographs of nature, too."
Mr. Iwago tells her, "Yes. I take them to show children wildlife." It is difficult
for some children to see wild animals
"When I was 19, I went to the Galapagos Islands in the Pacific Ocean. They
are part of it." He believes that we can learn from nature.
Emma ends the interview by saying, "We are part of nature."
(120)

穴あきサマリー▶
レッスン本文を
日本語で要約して
キーワード部分を
穴あきにしたものを
ご用意しています。

穴あきサマリー

本文の内容と一致するように、() 内に適切な語を入れてみよう。

LESSON 5

岩合光昭さんは人気のある動物 (①) で、特にネコの写真を多く撮影しています。
素晴らしい写真を撮るための (②) は、ネコを愛し、彼らと長い時間を過ごすことだ
そうです。彼らの (③) を理解すれば、素晴らしい写真を撮るチャンスを見
つけられるとのことでした。
岩合さんが自然の写真を撮るのは、子どもたちに (④) の生物を見せるためです。
岩合さんは 19 歳のときに父親を手伝うために (⑤) 諸島に行き、そこでみごと
な野生動物を見る機会がありました。
私たちには自然から学ぶ (⑥) があります。私たちは自然の (⑦) であるとい
うことを覚えておかなくてはなりません。

解答
①写真家 ②秘訣 ③ライフスタイル ④野生 ⑤ガラパゴス ⑥教訓 ⑦一部

■活動用WS／ループリック案／提示用パワーポイント

活動用ワークシート▶課末のコミュニケーション活動で使えるワークシート。

(Worksheet)

1: 環境のためにしていること①
I _____.

2: 環境のためにしていること②
I _____.

3: 自分の気持ちなど
I _____.

4: まとめ (スピーチ)
I usually care about the environment.
First, I _____.
Second, I _____.
I _____.
Thank you for listening.

評価ループリック案▶言語活動の評価に使えるループリック。

観点	A	B	C
知識・技能	適切な文法・語法・表現を使って、食生活やインフォメーションを伝え、食生活やインフォメーションを伝え、食生活やインフォメーションを伝える。	小さな誤りはあるが、食生活やインフォメーションを伝え、食生活やインフォメーションを伝える。	Bを満たしていない。
思考・判断・表現	自分がしている環境について、適切な文法・語法・表現を使って、環境について述べている。	自分がしている環境について、適切な文法・語法・表現を使って、環境について述べている。	Bを満たしていない。
主体的な関与・態度	自分がしている環境について、適切な文法・語法・表現を使って、環境について述べている。	自分がしている環境について、適切な文法・語法・表現を使って、環境について述べている。	Bを満たしていない。

提示用パワーポイント▶投影用データとして、各種パワーポイントをご用意しています。

LESSON 2 Soy Meat Section 1 (p.34)

1

finally

LESSON 2 Soy Meat Section 1 (p.34)

2

とうとう、ついに

LESSON 2 Soy Meat Section 1 (p.34)

1

Mike: Finally, lunchtime! What's your favorite food, Moe?
Moe: I like vegetables and fish.
Mike: But you are eating meatballs.
Moe: This? It's soy meat.
Mike: No way! It looks just like real meat.
Moe: Right. But soy meat is low in calories and rich in protein.

LESSON 2 Soy Meat Section 1 (p.34)

2

SUM UP!

- Moe and Mike are talking at (1 lunchtime).
- Moe is eating (2 soy) meat.
- Soy meat is rich in (3 protein).

lunchtime protein soy

LESSON 2 Soy Meat Section 1 (p.34)

1

① What food does Moe like?

— She likes vegetables and fish.

スラッシュごとの本文、単語フラッシュカード、Q&Aなどの音声付きパワーポイントデータです。カスタマイズ可能ですので、様々なシーンでご活用いただけます。

■指導者用デジタル教科書（教材）

教師用
指導書
同梱

指導者用デジタル教科書（教材）▶多様なスタイルの授業展開を支えます。

アプリ版（PC、iPad）、クラウド版、それぞれで使うことができる指導者用デジタル教科書（教材）を教師用指導書に同梱！紙面表示・本文拡大表示や音声再生だけではなく、先生向けの機能やコンテンツを多数搭載し、テンポのよい授業展開を実現します。

デジタル
コンテンツ
紹介ページ



紙面表示

紙面に設定されたアイコンから豊富なコンテンツを呼び出し可能

紙面上から音声再生が可能

画面表示を改良しました！

片側ページを白画面表示にして板書が可能（左右切り替え可）

VISTA English Communication I

本文拡大表示

SECTION 1

Mike: Finally, lunchtime! What's your favorite food, Moe?//

Moe: I like vegetables and fish.//

Mike: But you are eating meatballs.//

Moe: This?//It's soy meat.//

Mike: No way!//It looks/just like real meat.//

Moe: Right.//But soy meat/is low in calories/and rich in protein.//

解答例表示

What food does Moe like?

—She likes vegetables and fish.

Is soy meat high in calories?

— No, it isn't.

新出語フラッシュカード

protein

【主な機能】

- ・ Oral Introductionの音声再生
- ・ レッスン通し読み本文の表示・音声再生
- ・ フレーズリーディング表示
- ・ TF、Q&A、リスニング問題の音声再生
- ・ 各種タスクの解答表示／非表示
- ・ 題材リンクの表示
- ・ 授業ツール（タイマー、ストップウォッチ、ルーレット）
- ・ MY リンク（個別のリンク(URL)を保存できます）

■評価支援ツールのご紹介（観点別評価～評定換算表）

	A	B	C	D	E	F	G	H	I
1				達成度	a	b	c		
2					3	2	1		
3									
4			学期(登録値)→	1	1	1	1	1	1
5			重み付け(登録値)→		1		1		1
6			傾斜(登録値)→	読む	読む	読む	読む	読む	読む
7			項目名を選択→	Lesson 1 読む			Lesson 2 話す(発表)		
8	クラス	番号	名前	知識・技能	知識・技能	思考・判断・表現	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	主体的に学習に取り組む態度
9	1	1	サンプル1	b	2	b	2	a	3
10	1	2	サンプル2	a	3	b	2	b	2
11	1	3	サンプル3	c	1	c	1	b	2
12	1	4	サンプル4	b	2	a	3	b	2
13	1	5	サンプル5	a	3	a	3	a	3
14	1	6	サンプル6	b	2	b	2	c	1
15	1	7	サンプル7	b	2	b	2	c	1
16	1	8	サンプル8	a	3	b	2	b	2
17	1	9	サンプル9	c	1	c	1	b	2
18	1	10	サンプル10	b	2	b	2	b	2

領域ごとにa・b・cの観点別評価を入力すると、事前に設定した達成度に基づく点数が自動的に集計されます。

学期ごとおよび年間合計の達成度に基づき、総括的な評価の参考にできる指標が示されます。

7	【決定評価】						知識・技能					思考・判断・表現					主体的に学習に取り組む態度				
8	クラス	番号	名前	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	a	b	c	達成度計	評価	a	b	c	達成度計	評価	a	b	c	達成度計	評価
9	1	1	サンプル1	B	A	B	1	3	0	9.0	B	3	1	0	11.0	A	1	3	0	9.0	B
10	1	2	サンプル2	A	B	B	2	2	0	10.0	A	0	4	0	8.0	B	0	4	0	8.0	B
11	1	3	サンプル3	C	B	B	0	0	4	4.0	C	0	3	1	7.0	B	0	2	2	6.0	B
12	1	4	サンプル4	A	B	A	2	2	0	10.0	A	1	3	0	9.0	B	2	2	0	10.0	A
13	1	5	サンプル5	A	A	A	4	0	0	12.0	A	4	0	0	12.0	A	4	0	0	12.0	A
14	1	6	サンプル6	B	B	B	0	4	0	8.0	B	0	1	3	5.0	B	0	2	2	6.0	B
15	1	7	サンプル7	B	B	B	0	4	0	8.0	B	0	1	3	5.0	B	0	2	2	6.0	B
16	1	8	サンプル8	A	B	B	2	2	0	10.0	A	0	4	0	8.0	B	1	3	0	9.0	B
17	1	9	サンプル9	C	B	B	0	0	4	4.0	C	0	3	1	7.0	B	0	2	2	6.0	B
18	1	10	サンプル10	B	B	B	0	4	0	8.0	B	0	4	0	8.0	B	0	4	0	8.0	B

< >

(5) 評価

(4) 総括

(3) 記録

(2) 単元・教材・テスト名の登録

(1) 生徒の登録

テスト点数換算用

+

:

◀ ▶

100%

準備完了

田 圃 田 - + 100%

総括評価をもとにした評定への換算を計算できます。通常のExcel ファイルなので、カスタマイズも可能です。また、Google スプレッドシートなどでもお使いいただけます。

※形式は全書名共通です。 ※内容は一部変更になる可能性があります。

■データ活用のご案内



① 授業準備・教材研究には…

- ・「解説と指導」では、文法・語法解説に加え、題材関連情報やタスク解答例など、授業をイメージするための情報が豊富に掲載されています。
- ・データ「解説と指導PDF」では文字検索もできますので、調べたいところにすぐにたどり着けます。文法項目などのインデックス代わりにもお使いいただけます。
- ・データ「教科書紙面PDF」からは、スナップショットツールなどを用いて図版を切り取ることができ、独自のプリント作りなどにも活用いただけます。
- ・指導用CDをご購入いただければ、音声MP3データのダウンロードが可能になりますので、プリントや提示資料への音声組み込み等が可能になります。

② 実際の授業では…

- ・指導者用デジタル教科書（教材）のほか、本文・新出単語を手軽に提示できる提示用パワーポイントデータ（音声付）も付属しています。
- ・題材資料はプリントの形に整っており、そのまま生徒に配布することも可能です。
- ・穴あきサマリーや情報の整理、本文Easy Versionなど、本文読解を幅広い角度から行える材料が豊富に用意されています。
- ・各種ワークシートやリテリング用イラストなど、教科書活動に合わせて使えるデータも豊富に収録しています。また活動やパフォーマンス課題については、評価の観点やルーブリック案を、「解説と指導」への記載、別途データの形などで提示しています。
- ・ことまな辞書や「総合英語」紙面PDFは、参照用にも、授業での提示用にもお使いいただけます。

③ テスト作成、評価では…

- ・レッスンごとの評価問題をはじめ、教科書に応じて幅広いレベルのテスト例をご用意しています。評価の観点を付した定期テスト案もございます。
- ・ウェブ版自動問題作成「ことまなT」では、主にワークブックの問題を用いたテスト問題を手軽に作成できます。プログラムは採用書籍を問わず共通ですので、他教科書・学参などの問題もご参考にしていただけます。
- ・評定に向けて、積み上げた観点別評価を数値に換算・集計できる評価支援ツール（Excelデータ）をご用意しています。